

9月29日(火) A会場

8:30~9:30 教育講演 7

司会：沼田 吉彦 公益財団法人星総合病院星ヶ丘病院

EL7

精神障害の労災認定評価や労災医療の動向～特に産業精神保健の動向を含めて～

○黒木 宣夫^{1,2}¹勝田台メディカルクリニック、²東邦大学医療センター佐倉病院精神神経医学研究室

9:40~10:40 特別講演 4

同時通訳(E↔J)

司会：武田 雅俊 学校法人河崎学園大阪河崎リハビリテーション大学

SL4

New diagnostic models of gender identity, sexual orientation, and atypical sexual behaviour in the ICD-11: Implications for psychiatric practice

○Geoffrey M. Reed

Department of Mental Health and Substance Abuse, World Health Organization



受賞報告会

11:10~12:10

1. 精神医学奨励賞

University College London, Institute of Neurology, UK 曾根 大地

2. 国際学会発表賞

・個人発表部門

昭和大学発達障害医療研究所 青木 悠太
 独立行政法人国立病院機構舞鶴医療センター 綾仁 信貴
 地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪精神医療センター 入来 晃久
 千葉大学医学部附属病院精神神経科 大石 賢吾
 University College London, Institute of Neurology, UK 曾根 大地

・シンポジウム組織発表部門

奈良県立医科大学精神医学講座 紀本 創兵
 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室 野田 賀大

3. フォリア賞

司会：順天堂大学医学部附属病院精神医学教室

加藤 忠史

東京都立大学大学院人文科学研究科言語科学教室 矢田 康人



4. PCN Reviewer Awards

大阪府立大学大学院総合リハビリテーション学研究科臨床支援系領域	石井 良平
関西医科大学精神神経科学教室	池田 俊一郎
九州大学大学院医学研究院精神病態医学	加藤 隆弘
国立精神・神経医療センター精神保健研究所知的・発達障害研究部	岡田 俊
国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所児童・予防精神医学研究部	住吉 太幹
和歌山県立医科大学医学部神経精神医学教室	高橋 隼

12:30～13:30 **先達に聴く**

司会：堀口 淳 島根大学医学部精神医学講座

先達に聴く **精神科医 Hans Berger の生涯と脳波の発見**

○山口 成良
社会医療法人財団松原愛育会松原病院 名誉院長



13:40～15:40 **シンポジウム 50**

主治医・産業医としての精神疾患患者の両立支援（＝治療＋就労）をめぐる

司会：神山 昭男 医療法人社団桜メデイスン産業保健サポートセンター
奥山 真司 トヨタ自動車株式会社統括産業医

S50-1 行政からの提案と検討課題

○神山 昭男
医療法人社団桜メデイスン産業保健サポートセンター

S50-2 嘱託産業医の立場から

○田中 和秀
医療法人ひつじクリニック

S50-3 精神科主治医の立場から

○高野 知樹
医療法人社団弘富会神田東クリニック

S50-4 精神障害者の働き続けるを支える

○金塚 たかし
大阪精神障害者就労支援ネットワーク

S50-5 〔指定発言〕

○渡辺 洋一郎
日本CHRコンサルティング株式会社

S50-6 〔指定発言〕

○小山 文彦
東邦大学医療センター産業精神保健職場復帰支援センター

〈コーディネーター〉 紫藤 昌彦 紫藤クリニック精神科
高野 知樹 神田東クリニック

16:00～18:00 **委員会シンポジウム 19**（精神保健に関する委員会）
働き方改革と労働者のメンタルヘルス

司会：吉村 玲児 産業医科大学病院
渡辺 洋一郎 横山・渡辺クリニック

CS19-1 平成 30 年度における精神障害の労災補償の現状

○荒井 稔
日本私立学校振興・共済事業団東京臨海病院

CS19-2 働き方改革における生産性向上～日本企業における人間関係の視点から～

○渡辺 洋一郎
医療法人メディカルメンタルケア横山・渡辺クリニック

CS19-3 精神障害者への就労支援

○井上 幸紀
大阪市立大学大学院医学研究科神経精神医学

CS19-4 過労自殺の予防について

○生越 照幸
弁護士法人ライフパートナー法律事務所

〈コーディネーター〉 渡辺 洋一郎 横山・渡辺クリニック
吉村 玲児 産業医科大学病院



9月29日(火) B会場

8:30~10:30

委員会シンポジウム 13 (PCN 編集委員会) アカデミアによるわが国発の精神神経領域の新たな治療薬開発

司会：加藤 忠史 順天堂大学医学部附属病院精神医学教室
山末 英典 浜松医科大学精神医学講座

CS13-1 ビリドキサミンを用いた統合失調症の治療薬開発

○糸川 昌成
東京都医学総合研究所病院等連携研究センター

CS13-2 球脊髄性筋萎縮症に対する疾患修飾療法の開発

○勝野 雅央
名古屋大学大学院医学系研究科神経内科学

CS13-3 R-ケタミンは画期的な抗うつ薬になるか？

○橋本 謙二
千葉大学

CS13-4 自閉スペクトラム症中核症状治療薬としてのオキシトシン経鼻剤の開発

○山末 英典
浜松医科大学精神科

〈コーディネーター〉 山末 英典 浜松医科大学精神医学講座
加藤 忠史 順天堂大学医学部附属病院精神医学教室
神庭 重信 日本うつ病センター

10:40~12:40

シンポジウム 42

児童相談所に精神科医師はどんな協力ができるか -児童福祉法一部改正による児童相談所の医師配置に対して-

司会：中山 浩 川崎市こども家庭センター
境 玲子 川崎市こども家庭センター/小児療育相談センター

S42-1 児童相談所を知り、つながろう

○境 玲子
川崎市こども家庭センター

S42-2 精神科医が不足している地域で児童相談所と子どものメンタルケアに関わるということ

○森 昭憲
富山県リハビリテーション病院・こども支援センター児童精神科

S42-3 児童相談所の常勤医師の必要性

○田崎 みどり^{1,2}
¹横浜市中央児童相談所、²筑波大学大学院人間総合科学研究科ヒューマン・ケア科学

S42-4 児童相談所における精神科、児童精神科医師の役割と得られる技能

○中山 浩
川崎市こども家庭センター

S42-5 【指定発言】

○金井 剛
三重県立子ども心身発達医療センター

〈コーディネーター〉 中山 浩 川崎市こども家庭センター

13:40~14:40 **教育講演 9**

司会：相澤 明憲 特定医療法人佐藤会弓削病院

EL9

認知症高齢者の意思決定支援

○三村 将
慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室



14:50~15:50 **教育講演 10**

司会：山内 俊雄 埼玉医科大学

EL10

脳波 -これから学ぶ人のために

○渡辺 雅子
新宿神経クリニック精神科



16:00~17:00 **教育講演 11**

司会：仙波 純一 たかつきクリニック

EL11

臨床研究の倫理と利益相反

○神山 圭介
慶應義塾大学病院臨床研究監理センター



教育講演 12

取り下げ



9月29日(火) C会場

8:30~10:30

シンポジウム 32

精神科分野における経頭蓋直流刺激(tDCS)の実用性と今後の展望 -本邦における tDCS 臨床研究の進捗

司会：住吉 太幹 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所児童・予防精神医学研究部
西田 圭一郎 在フランス日本国大使館/関西医科大学附属病院

S32-1 気分障害と統合失調症における両側前頭部の経頭蓋直流刺激(tDCS)による電界シミュレーション値の検討

○高橋 隼^{1,2}

¹和歌山県立医科大学医学部神経精神医学教室、²Department of Psychiatry and Psychotherapy, University Hospital, LMU Munich

S32-2 国立精神・神経医療研究センターにおける経頭蓋直流電気刺激研究の進捗と展望

○山田 悠至¹、稲川 拓磨²、成田 瑞³、横井 優磨⁴、住吉 太幹⁵

¹国立精神・神経医療研究センター病院第二精神診療部、²国立精神・神経医療研究センター病院第一精神診療部、

³ジョンズホプキンス医学系大学院精神行動医学分野、

⁴独立行政法人医薬品医療機器総合機構新薬審査第三部審査専門員、

⁵国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所児童・予防精神医学研究部

S32-3 タスクスイッチ課題遂行中のうつ病患者への前頭前野経頭蓋直流電気刺激(tDCS)の効果の検討

○南 翔太¹、越川 陽介¹、西田 圭一郎¹、吉村 匡史¹、石井 良平³、森島 陽介⁴、山根 倫也²、木下 利彦¹

¹関西医大総合医療センター精神神経学講座、²関西大学大学院心理学研究科、

³大阪府立大学総合リハビリテーション学研究科、⁴ベルン大学精神科病院・トランスレーショナルリサーチセンター

S32-4 tDCS による注意機能の増強には内因性ドパミンの放出が関連する -PET を用いた研究

○廣澤 徹、深井 美奈、亀谷 仁郁、相馬 大輝、湯浅 慧吾、菊知 充

金沢大学医学部附属病院精神科

S32-5 【指定発言】

○小坂 浩隆

福井大学医学部附属病院

〈コーディネーター〉 住吉 太幹 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所児童・予防精神医学研究部
菊知 充 金沢大学附属病院神経科精神科

10:40~12:20

ワークショップ 10

〈脳波の応用コース〉脳波検査とその解釈 脳波検査をどう臨床にいかしていくのか

司会：山内 俊雄 埼玉医科大学
太田 克也 医療法人明柳会恩田第二病院院長

WS10 〈講演者〉 太田 克也 医療法人明柳会恩田第二病院院長
原 恵子 原クリニック
渡邊 さつき 埼玉医科大学病院神経精神科・心療内科
高木 俊輔 東京医科歯科大学医学部附属病院

〈コーディネーター〉 太田 克也 医療法人明柳会恩田第二病院院長
矢部 博興 福島県立医科大学医学部神経精神医学講座

13:40～15:40 シンポジウム 51

精神医学は心の医学か、脳の医学か？ -精神医学の哲学から切り込む心身問題

司会：村井 俊哉 京都大学大学院医学研究科精神医学教室

S51-1 心因性という概念について

○植野 仙経

京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座精神医学教室

S51-2 脳の医学と心の医学精神医学の実践二元論

○榊原 英輔

東京大学医学部附属病院精神神経科

S51-3 心身問題と精神医学の多元性

○鈴木 貴之

東京大学大学院総合文化研究科

S51-4 精神医学は人間の行動生態に関する医学である

○田所 重紀

室蘭工業大学保健管理センター

S51-5 心身問題と心の病

○信原 幸弘

元東京大学

〈コーディネーター〉 榊原 英輔 東京大学医学部附属病院

16:00～18:00 シンポジウム 60

全国の精神保健福祉センターにおける自殺対策の取り組み

司会：太田 順一郎 岡山市こころの健康センター
大塚 耕太郎 岩手医科大学附属病院

S60-1 保健所が実施する「企業向け自殺予防メンタルヘルス出前講座」の実践と効果～講演後のアンケート調査から～

○原田 豊

鳥取県立精神保健福祉センター

S60-2 浜松市における在住外国人自殺対策

○二宮 貴至

浜松市精神保健福祉センター

S60-3 新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大の市民のメンタルヘルスへの影響 -川崎市こころの健康意識調査をもとに-

○竹島 正¹、山内 貴史²、廣田 菜津子¹、橋本 貢河³¹川崎市健康福祉局障害保健福祉部精神保健福祉センター、²東京慈恵会医科大学医学部環境保健医学講座、³川崎市健康福祉局障害保健福祉部精神保健課

S60-4 全国の自死遺族支援グループの現状～主に分かち合いの会を中心に・令和元年度全国調査より～

○白川 教人¹、二宮 貴至²、田中 治³、辻本 哲士⁴¹横浜市こころの健康相談センター、²浜松市精神保健福祉センター、³青森県立精神保健福祉センター、⁴滋賀県精神保健福祉センター

S60-5 札幌市におけるゲートキーパー養成研修について

○鎌田 隼輔

札幌市精神保健福祉センター札幌市保健福祉局障がい保健福祉部



S60-6

自死遺族支援グループとの関わり

○波床 将材

京都市こころの健康増進センター

〈コーディネーター〉 田中 治 青森県立精神保健福祉センター
太田 順一郎 岡山市こころの健康センター

9月29日(火) D会場

8:30~10:30

シンポジウム 33

自閉スペクトラム症者へのヒューマノイドロボット研究の今後の展望

司会：村松 太郎 慶應義塾大学医学部精神神経科学教室
松本 吉央 産業技術総合研究所人間拡張センター

S33-1

自閉スペクトラム症者へのヒューマノイドロボット介入の潜在性

○熊崎 博一

国立精神神経医療研究センター精神保健研究所児童予防精神医学研究部児童・青年期精神保健研究室

S33-2

ヒューマノイドロボットを用いた治療の実用化に向けて今工学者が取り組むべきこと

○吉川 雄一郎¹、熊崎 博一³、松本 吉央³、宮尾 益知⁴、上原 悠輝¹、島谷 二郎¹、石黒 浩^{1,2}¹大阪大学大学院基礎工学研究科、²国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、³産業技術総合研究所、⁴どんぐりクリニック

S33-3

「空気を読む」ことの情報処理と情報機器による支援

○寺田 和憲

岐阜大学

S33-4

未来のひきこもり支援におけるヒューマノイドロボットの活用

○加藤 隆弘

九州大学大学院医学研究院精神病態医学

S33-5

精神疾患患者へのロボット治療の展望：今後の発展のため医師及び工学者の果たすべき役割

○宮尾 益知¹、松本 吉央²¹どんぐり発達クリニック、²産業技術総合研究所人間拡張センター

S33-6

〔指定発言〕

○中村 元昭

昭和大学発達障害医療研究所

S33-7

〔指定発言〕

○今井 倫太

慶應義塾大学理工学部

S33-8

〔指定発言〕

○小嶋 秀樹

東北大学大学院教育学研究科教育学部

〈コーディネーター〉 熊崎 博一 国立精神神経医療研究センター精神保健研究所児童予防精神医学研究部児童・青年期精神保健研究室
加藤 隆弘 九州大学医学部精神科神経科
吉川 雄一郎 大阪大学大学院基礎工学研究科

10:40~12:40

委員会シンポジウム 14 (オンライン精神科医療検討作業班)

精神科領域におけるオンライン診療：保険診療 3 年目の現状と課題

司会：米田 博 大阪医科大学
吉村 健佑 千葉大学

CS14-1

遠隔・オンライン診療を取り巻く政策動向 -新型コロナウイルス感染症対策を見据えて-

○吉村 健佑

千葉大学医学部附属病院次世代医療構想センター/千葉県新型コロナウイルス対策本部



CS14-2 精神科オンライン診療から見える臨床風景

○小椋 哲
医療法人瑞枝会クリニック心療内科・精神科

CS14-3 遠隔医療、そしてオンライン診療の展望

○長尾 喜一郎
医療法人長尾会ねや川サナトリウム

CS14-4 オンライン診療、中央評価、遠隔モニタリング：種々の遠隔医療の今後の展開

○岸本 泰士郎
慶應義塾大学精神・神経科学教室

〈コーディネーター〉 岸本 泰士郎 慶應義塾大学精神・神経科学教室
米田 博 大阪医科大学
稲垣 中 青山学院大学

13:40～15:40 シンポジウム 52
わが国における大規模調査からわかる双極性障害治療におけるヒント

司会：渡邊 衡一郎 杏林大学医学部精神神経科学教室
上田 均 もりおか心のクリニック

S52-1 MUSUBI 研究の概要

○窪田 幸久
中央公園クリニック精神科

S52-2 双極性障害外来患者における自殺性（suicidality）リスク因子

○中川 敦夫^{1,2}、菊地 俊暁²、古郡 規雄³、吉村 玲児⁴、加藤 正樹⁵、坪井 貴嗣⁶、近野 祐介⁴、
菅原 典夫³、足立 直人⁷、窪田 幸久⁷、阿瀬川 孝治⁷、上田 均⁷、枝川 浩二⁷、勝元 榮一⁷、
後藤 英一郎⁷、本郷 誠司⁷、渡邊 衡一郎⁶

¹慶應義塾大学病院臨床研究推進センター教育研修部門、²慶應義塾大学医学部精神神経科学教室、
³獨協医科大学精神神経医学講座、⁴産業医科大学医学部精神医学教室、⁵関西医科大学精神神経科学講座、
⁶杏林大学医学部精神神経科学教室、⁷日本精神神経科診療所協会

S52-3 双極性障害外来治療患者の就労状況について -MUSUBI-J 研究より-

○近野 祐介^{1,2}、藤野 善久²、吉村 玲児^{1,8}、菊地 俊暁^{3,8}、中川 敦夫^{3,8}、古郡 規雄^{4,8}、加藤 正樹^{5,8}、
坪井 貴嗣⁸、菅原 典夫^{4,8}、足立 直人⁷、窪田 幸久⁷、上田 均⁷、枝川 浩二⁷、勝元 榮一⁷、
阿瀬川 孝治⁷、後藤 英一郎⁷、本郷 誠司⁷、三木 和平⁷、渡邊 衡一郎⁶

¹産業医科大学精神科、²産業医科大学産業生態科学研究環境疫学研究室、³慶應大学医学部精神・神経科学教室、
⁴獨協医科大学精神神経医学講座、⁵関西医科大学精神科、⁶杏林大学医学部精神神経科学教室、
⁷日本精神神経科診療所協会、⁸日本臨床精神神経薬理学会

S52-4 双極性障害外来患者の精神症状と薬物治療費の解析

○足立 直人^{1,2}、阿瀬川 孝治²、上田 均^{2,3}、枝川 浩二²、勝元 榮一^{2,3}、加藤 正樹³、菊地 俊暁³、
窪田 幸久^{2,3}、後藤 英一郎²、坪井 貴嗣³、中川 敦夫³、古郡 規雄³、本郷 誠司²、三木 和平²、
吉村 玲児³、渡邊 衡一郎³

¹武蔵屋足立医院、²日本精神神経科診療所協会、³日本臨床精神神経薬理学会

S52-5 MUSUBI の 3 年転帰の調査結果から

○古郡 規雄^{1,2}、菅原 典夫^{1,2}、加藤 正樹²、吉村 玲児²、中川 敦夫²、坪井 貴嗣²、窪田 幸久²、
足立 直人²、後藤 英一郎²、阿瀬川 孝治²、枝川 浩二²、勝元 榮一²、上田 均²、三木 和平²、
渡邊 衡一郎²、下田 和孝¹

¹獨協医科大学精神神経医学講座、²JSCNP-JANPC抗うつ薬適正使用プロジェクトチーム

〈コーディネーター〉 渡邊 衡一郎 杏林大学医学部精神神経科学教室

16:00～18:00 **委員会シンポジウム 20（薬事委員会）**
本邦における処方レギュレーションのあり方に関する検討

司会：齊藤 卓弥 北海道大学大学院児童思春期精神医学研究部門
 岸本 泰士郎 慶應義塾大学医学部精神神経科学教室

CS20-1 本邦におけるクロザピン血液モニタリング頻度：2週毎から4週毎に変更できるのか？

○藤井 康男
 山梨県立北病院精神科

CS20-2 飲酒量低減薬ナルメフェンのレギュレーションを考える

○宮田 久嗣
 東京慈恵会医科大学精神医学講座

CS20-3 精神刺激薬の ADHD 治療における日本での流通の安全管理の必要性和世界的な治療選択薬としての位置づけ

○齊藤 卓弥
 北海道大学大学院児童思春期精神医学研究部門

CS20-4 精神神経疾患領域における医薬品の流通管理の目的と課題

○中林 哲夫
 独）医薬品医療機器総合機構研究支援・推進部

〈コーディネーター〉 齊藤 卓弥 北海道大学大学院児童思春期精神医学研究部門
 岸本 泰士郎 慶應義塾大学医学部精神神経科学教室



9月29日(火) E会場

8:30~10:30

シンポジウム 34

子どもの同意能力と児童精神科臨床

司会：田中 究 兵庫県立ひょうごこころの医療センター
中土井 芳弘 独立行政法人国立病院機構四国こどもとおとなの医療センター

S34-1

子どもの治療同意能力

○児玉 祥子
東京都石神井学園

S34-2

臨床の葛藤

○田中 哲
子どもと家族のメンタルクリニックやまねこ

S34-3

精神保健福祉法と子どもの人権

○太田 順一郎
岡山市こころの健康センター

S34-4

子どもの同意能力 法的根拠と親権

○木村 一優
医療法人社団新新会多摩あおば病院精神科

〈コーディネーター〉 木村 一優 医療法人社団新新会多摩あおば病院精神科
田中 究 兵庫県立ひょうごこころの医療センター
太田 順一郎 岡山市こころの健康センター

10:40~12:40

シンポジウム 43

少年法適用年齢引き下げについて考える

司会：高岡 健 岐阜県立希望が丘こども医療福祉センター
田中 容子 府中刑務所

S43-1

少年事件と発達障害

○木村 一優
医療法人社団新新会多摩あおば病院精神科

S43-2

少年法対象年齢引き下げは、非行少年処遇の簡略化・放任化である

○富田 拓
網走刑務所医務課

S43-3

なぜ、今少年法を変える必要があるのか？

○安保 千秋
都大路法律事務所

S43-4

少年矯正施設の役割と機能

○定本 ゆきこ
京都少年鑑別所医務課

〈コーディネーター〉 太田 順一郎 岡山市こころの健康センター
木村 一優 医療法人社団新新会多摩あおば病院
高岡 健 岐阜県立希望が丘こども医療福祉センター

13:40～15:40 **委員会シンポジウム 17（精神療法委員会）**
精神療法の教え方、伝え方

司会：岡野 憲一郎 京都大学大学院教育学研究科
 中尾 智博 九州大学大学院医学研究院精神病態医学

CS17-1 医療面接から精神療法へ

○高橋 恵
 北里大学北里研究所病院精神科

CS17-2 精神療法の教え方：精神療法的態度の提供

○白波瀬 丈一郎
 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

CS17-3 精神療法の教え方、伝え方の 4 ステップ

○大野 裕
 大野研究所

CS17-4 私の精神療法の学習経験について

○中村 伸一
 中村心理療法研究室

CS17-5 【指定発言】

○水野 雅文
 東邦大学医学部精神神経医学講座

〈コーディネーター〉 中尾 智博 九州大学大学院医学研究院精神病態医学

16:00～18:00 **シンポジウム 61**
福島のレジリエンス、震災・原発事故からの 10 年を振り返り、これからの 10 年を考える

司会：星野 修三 一般財団法人竹田健康財団竹田総合病院精神科
 沼田 吉彦 公益財団法人星総合病院星ヶ丘病院

S61-1 大災害における被災者の心のケア～行政の立場から考える～

○遠藤 智子
 福島県保健福祉部障がい福祉課

S61-2 福島の復興従事者の疲弊：とくに自治体職員への支援を考える

○前田 正治^{1,2}、竹林 唯^{1,2}
¹福島県立医科大学医学部災害こころの医学講座、²福島県精神保健福祉協会ふくしま心のケアセンター

S61-3 なごみの活動から考える地域包括ケア

○大川 貴子
 福島県立医科大学

S61-4 東日本大震災から 10 年目を迎えた福島県内の精神科病院の現状と復興の課題

○本田 教一
 財団法人磐城済世会舞子浜病院

S61-5 福島県 DPAT の目指すもの -受援と支援の学びを通して-

○後藤 大介
 公立大学法人福島県立医科大学医学部神経精神医学講座



S61-6

〔指定発言〕

○熊倉 徹雄

公益財団法人金森和心会雲雀ヶ丘病院

〈コーディネーター〉 星野 修三
沼田 吉彦
前田 正治

一般財団法人竹田健康財団竹田総合病院精神科
公益財団法人星総合病院星ヶ丘病院
福島県立医科大学災害医学講座

9月29日(火) F会場

8:30~10:30 シンポジウム 35
若手リエゾン精神科医による10年後への道標

司会：齋藤 円 市立ひらかた病院精神科
大矢 希 京都府立医科大学大学院研究科精神機能病態学

S35-1 「若手精神科医」による組織のあり方～学会組織としての取り組みを活かす～

○大矢 希^{1,2}¹京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学、²認定特定非営利活動法人日本若手精神科医の会 (JYPO)

S35-2 精神科医が妊産婦を診るということ

○須田 哲史

国家公務員共済組合連合会立川病院精神神経科

S35-3 精神症状に困っている人は精神科の門を叩くー器質性精神障害を学ぼうー

○中神 由香子^{1,2}¹京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座(精神医学教室)、²京都大学環境安全保健機構健康管理部門/附属健康科学センター

S35-4 精神症状/疾患のあるがん患者さんの診療、自信ありますか？

○五十嵐 江美

東北大学病院精神科

S35-5 〔指定発言〕

○清水 研

国立がん研究センター中央病院精神腫瘍科

〈コーディネーター〉 平山 貴敏 国立がん研究センター中央病院精神腫瘍科
中神 由香子 京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座精神医学教室
大矢 希 京都府立医科大学大学院研究科精神機能病態学

10:40~12:40 Fellowship Award Symposium 3
Mental health and work life balance of psychiatrists

Chairperson : Ai Aoki Department of Health Policy, National Center for Child Health and Development, Japan

FAS3-1 The Landscape of South African Psychiatrists

○Tejil Morar

Psychiatry Registrar at the University of the Witwatersrand, South Africa

FAS3-2 Work-Life Balance of Psychiatrists in the Republic of Georgia : Challenges and Perspectives of Improvement

○Eteri Machavariani

Tbilisi State Medical University, tsmu.edu, Georgia

FAS3-3 A Spanish Challenge to Conquer Mental Health (MH) and Work-Life Wellbeing

○Justo Pinzón Espinosa

Department of Psychiatry and Psychology, Institute of Neuroscience, Hospital Clinic of Barcelona, Spain



FAS3-4 Work-related lifestyles of Japanese psychiatrists : Problems and solutions

○Yuka Oyanagi

Department of Psychiatry Hokkaido University Graduate School of Medicine, Japan

〈Coordinator〉 Toshitaka Ii : Aichi Medical University, Japan

13:40~15:40

Fellowship Award Symposium 4

Case Vignette (Obsessive Compulsive Disorder)

Chairpersons : Hisato Matsunaga
Toshitaka Ii

Department of Neuropsychiatry, Hyogo College of Medicine, Japan
Aichi Medical University, Japan

FAS4-1 Obsessive-compulsive disorder in an adolescent : formulating a comprehensive management plan

○Abhishek Ghosh

Drug De-addiction & Treatment Centre, Department of Psychiatry, Postgraduate Institute of Medical Education & Research, Chandigarh, India

FAS4-2 Family Education and Interventions for a case of drug non-compliance Obsessive Compulsive Disorder

○A S M Morshed

Department of Psychiatry, Dr. Sirajul Islam Medical and Hospital, Dhaka, Bangladesh

FAS4-3 The Greek multidiscipline team approach for patients with OCD

○Theodoros Koutsomitros

2nd department of Psychiatry, Aristotle University of Thessaloniki, Greece

FAS4-4 “Tic-related”, newly introduced specifier in the diagnostic criteria for obsessive compulsive disorder in DSM-5

○Keiichiro Mukai

Department of Neuropsychiatry, Hyogo College of Medicine, Japan

〈Coordinator〉 Toshitaka Ii : Aichi Medical University, Japan

9月29日(火) G会場

13:40～15:20 **ワークショップ 12** (精神保健に関する委員会)
最近の自殺問題の動向と自殺予防医療

司会：河西 千秋 札幌医科大学医学部神経精神医学講座

WS12 <講演者> 太刀川 弘和 筑波大学
 張 賢徳 帝京大学医学部附属溝口病院
 大塚 耕太郎 岩手医科大学
 河西 千秋 札幌医科大学医学部神経精神医学講座

<コーディネーター> 河西 千秋 札幌医科大学医学部神経精神医学講座
 大塚 耕太郎 岩手医科大学



9月29日(火) H会場

8:30~9:30

一般演題(口演) 15

統合失調症 3

司会: 鈴木 健文 山梨大学医学部精神神経医学講座

2-015-1

抗精神病薬不応性の精神病症状に対しミルタザピン単剤治療が奏功した遅発性統合失調症の1例

○石飛 信^{1,2}、長瀬 幸弘¹、長瀬 輝¹

¹高月病院精神科、²医療法人寿栄会有馬高原病院

2-015-2

Noonan 症候群に伴う統合失調症に対しパリペリドンが有用であった一例

○嶋田 修一郎、渡邊 真理子、澤中 政道、丸山 直樹

医療法人崇徳会田宮病院

2-015-3

Paliperidone で錐体外路症状が生じた患者に brexpiprazole を追加投与し症状が緩和した一例

○井上 悟

医療法人静和会浅井病院精神科

2-015-4

慢性統合失調症患者におけるアリピプラゾール単剤治療への切替方法についての検討(多施設コホート研究)

○大林 芳明^{1,2,3,4}、光井 聡⁵、酒本 真次¹、皆尾 望¹、吉村 文太²、耕野 敏樹²、矢田 勇慈²、岡久 祐子¹、高尾 総司⁵、来住 由樹²、武田 俊彦³、高木 学¹、山田 了士¹

¹岡山大学病院精神科神経科、²地方独立行政法人岡山県精神科医療センター、³公益財団法人慈主会慈主病院、⁴医療法人大林会福山こころの病院、⁵岡山大学大学院医歯薬学総合研究科衛生学教室

2-015-5

非定型抗精神病薬の Sc 症例の社会参加に及ぼす効果に関する考察

○葉 高文

特定医療法人浩洋会田中病院医局

9:40~10:40

一般演題(口演) 17

統合失調症 4

司会: 渡部 雄一郎 新潟大学大学院歯学総合研究科精神医学分野

2-017-1

統合失調症患者、非罹患近親者、健常者間における各精神疾患のポリジェニックリスクスコア

○大井 一高^{1,2,3}、西澤 大輔⁴、嶋田 貴充³、片岡 譲³、長谷川 準子⁴、塩入 俊樹¹、川崎 康弘³、橋本 亮太⁵、池田 和隆⁴

¹岐阜大学大学院医学系研究科精神病理学、²金沢医科大学総合内科学、³金沢医科大学精神神経科学、⁴東京都医学総合研究所依存性薬物プロジェクト、⁵国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

2-017-2

EP400 遺伝子の稀少変異は神経軸索の形態異常を引き起こし、統合失調症の原因となる

○森本 芳郎¹、清水 日智¹、松坂 雄亮¹、山口 尚宏¹、木下 裕久¹、今村 明²、小澤 寛樹^{1,2}

¹長崎大学病院精神科神経科、²長崎大学病院地域連携児童思春期精神医学診療部

2-017-3

カルボニルストレス性統合失調症の統合的 CNV-microRNA 解析と思春期発症の分子基盤

○吉川 茜^{1,2,3}、久島 周⁴、鈴木 一浩^{1,2}、宮下 光弘^{1,2}、鳥海 和也¹、堀内 泰江¹、尾崎 紀夫^{4,5}、糸川 昌成¹、新井 誠¹

¹東京都医学総合研究所統合失調症プロジェクト、²たかつきクリニック、³日本橋サunkリニック、

⁴名古屋大学医学部附属病院ゲノム医療センター、

⁵名古屋大学・大学院医学系研究科精神医学・親と子どもの心療学分野

2-017-4

3q29 欠失を認めた統合失調症患者の1例

○内藤 顕人、久島 周、木村 宏之、竹田 和弘、尾崎 紀夫

名古屋大学附属病院卒後臨床研修・キャリア形成支援センター

2-017-5 BupropionSR 精神病を呈した物質乱用障害を有する統合失調症患者

○西村 由貴
慶應義塾大学保健管理センター

10:50～11:50 一般演題（口演）19
脳器質性・症状性精神障害

司会：岡田 元宏 三重大学精神神経科学分野

2-019-1 Gorlin 症候群に幻覚妄想を伴った一例

○池畑 樹、塩川 奈理、新井 薫、林 岳宏、石塚 貴周、中村 雅之
鹿児島大学病院

2-019-2 免疫抑制剤の変更後、橋本脳症を発症した若年性関節リウマチの一症例

○早瀬 卓矢、渡邊 孝文、明智 龍男
名古屋市立大学病院

2-019-3 遅発性に覚醒障害による過眠症を呈した両側視床梗塞の1例

○有村 尚也、濱村 尚子、佐々木 なつき、石塚 貴周、春日井 基文、中村 雅之、佐野 輝
鹿児島大学病院神経科精神科

2-019-4 病初期に精神科初診となった進行性核上性麻痺の3症例

○一條 慧¹、渡辺 岳海¹、長瀬 幸弘^{1,2}、長瀬 輝諄¹
¹医療法人社団東京愛成会高月病院、²日本大学医学部附属板橋病院

2-019-5 後天性脳損傷後の怒り制御困難に認知行動療法を施行した6症例：“脳損傷後の怒り＝器質因は本当か？”

○宗 未来^{1,2}、高畑 圭輔^{2,3}、菊地 俊暁²、斎藤 文恵²、山縣 文²、船山 道隆^{2,4}、三村 将²
¹東京歯科大学市川総合病院精神科、²慶應義塾大学医学部精神神経科学教室、
³国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所脳機能イメージング研究部、⁴足利赤十字病院

12:00～13:00 一般演題（口演）21
依存・行動嗜癖3

司会：熊谷 雅之 医療法人優なぎ会 雁の巣病院

2-021-1 マッピングを用いた依存症支援の有用性について

○橋本 望、齋藤 暢紀
地方独立行政法人岡山県精神科医療センター

2-021-2 依存症病棟入院患者の過剰適応傾向と再飲酒・再使用との関連

○板橋 登子、小林 桜児、黒澤 文貴、福生 泰久、西村 康平
神奈川県立精神医療センター

2-021-3 ギャンブル依存症予防回復支援センターによる電話相談からみたギャンブル障害の特徴

○河本 泰信^{1,2}
¹医療法人社団正心会よしの病院、²一般財団法人ギャンブル依存症予防回復支援センター

2-021-4 袖ヶ浦さつき台病院『アルコール外来』の通院継続を支える資源

○倉田 勉¹、橋本 佐^{1,2}、柳井 貴志¹、高山 淳一¹、小沢 大輔¹、渡邊 堅太¹、清川 織恵³、
松本 秀吉¹、植田 順一¹、藤村 春花¹、吉野 晃平^{1,2}、菊池 周一¹
¹社会医療法人社団さつき会袖ヶ浦さつき台病院、²千葉大学大学院医学研究院精神医学、
³社会医療法人社団さつき会ケアセンターさつき



2-021-5 ウェルニッケ・コルサコフ症候群に対するビタミン B1 補充療法の検討

○北岡 淳子、入来 晃久、川田 慎也、高石 仁、岩田 和彦
地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪精神医療センター

13:40~14:40 一般演題（口演）23
神経症性障害 2

司会：柳沼 典正 あさかストレスクリニック

2-023-1 精神科作業療法が改善と維持に有効であった高齢女性の身体症状症の 1 例

○福田 周一^{1,2}、高山 剛^{1,2}、塩田 勝利¹、小林 聡幸¹、須田 史朗¹
¹自治医科大学精神医学教室、²上都賀総合病院

2-023-2 森田療法的心理教育により、治療が進展し、減薬に成功できたパニック症の遷延例の一症例

○石川 純一
那須こころの医院

2-023-3 「恐怖症」の進化精神医学

○高野 覚
医療法人社団明雄会本庄児玉病院精神科

2-023-4 <演題取り下げ>

14:50~15:50 一般演題（口演）25
睡眠障害

司会：山田 尚登 滋賀医科大学

2-025-1 異なる治療アプローチが奏功した過眠の三症例

○長尾 賢太郎^{1,2}、吉池 卓也²、松井 健太郎³、綾部 直子²、木村 綾乃³、都留 あゆみ³、
齊藤 友里香³、福水 道郎^{2,4}、吉田 寿美子³、栗山 健一²
¹国立精神神経医療研究センター病院第1精神診療部、
²国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所睡眠・覚醒障害研究部、
³国立精神神経医療研究センター病院臨床検査部、⁴瀬川記念小児神経学クリニック

2-025-2 クロナゼパムが奏功した頭内爆発音症候群の 1 例

○河江 亮臣
日本大学医学部附属板橋病院

2-025-3 <演題取り下げ>

2-025-4 事象関連電位を用いた睡眠薬による認知機能低下の予測

○志賀 哲也、星野 大、落合 晴香、刑部 有祐、菅野 和子、堀越 翔、三浦 至、矢部 博興
福島県立医科大学医学部神経精神医学講座

2-025-5 レム睡眠行動障害を併発した若年成人 PTSD の 1 症例

○土生川 光成¹、小城 公宏²、植田 健嗣²、小曾根 基裕¹、内村 直尚¹
¹久留米大学医学部神経精神医学講座、²医療法人清友会植田病院

16:00～17:00 **一般演題（口演）27**
コンサルテーション・リエゾン

司会：稲垣 正俊 島根大学医学部精神医学講座

2-027-1 精神科病床のない総合病院で対応に工夫を要した器質性精神障害の一例

○吉永 就洋¹、高瀬 真²、蒲池 あずさ²、五十嵐 美代²、荒井 稔²

¹久喜すずのき病院、²日本私立学校振興・共済事業団東京臨海病院

2-027-2 当院の精神科身体合併症病棟について

○浅野 聡子、原田 円、加藤 奏、椎名 是文、大久保 健、三澤 仁
さいたま赤十字病院心療科

2-027-3 病状説明後に不安躁状態（躁的防衛）を生じた乳がん患者の一例

○志賀浪 貴文、荒瀧 千絵子、佐々木 剛、畠田 順一、梅村 智樹、森田 美穂、倉持 泉、
安田 貴昭、吉益 晴夫

埼玉医科大学総合医療センターメンタルクリニック

2-027-4 被養育体験が産婦の不安・抑うつに与える影響について

○福井 直樹¹、茂木 崇治¹、小川 真貴^{1,2}、須貝 拓朗¹、江川 純¹、橋尻 洸陽¹、坪谷 隆介¹、
三留 節子³、荒木 理恵³、生野 寿史⁴、山口 雅幸⁵、西島 浩二⁶、高桑 好一⁶、榎本 隆之⁵、
染矢 俊幸¹

¹新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野、²新潟医療福祉大学看護学部、³新潟大学医歯学総合病院看護部、

⁴新潟県立がんセンター婦人科、⁵新潟大学大学院医歯学総合研究科産科婦人科学分野、

⁶新潟大学医歯学総合病院総合周産期母子医療センター

2-027-5 周産期の統合失調症に対する抗精神病薬投与と代謝性合併症

○小林 奈津子^{1,2}、菊地 紗耶¹、齋藤 昌利³、本多 奈美⁴、富田 博秋^{1,4}

¹東北大学病院精神科、²東北大学大学院医学系研究科精神看護学分野、³東北大学産婦人科、

⁴東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野



9月29日(火) I会場

8:30~9:30 一般演題(口演) 16
気分障害 3

司会: 石井 啓義 大分大学医学部精神神経医学講座

2-016-1 うつ病の増悪因子である不安・抑うつ発作、反芻思考、拒絶過敏性の相互関係

○岸本 智数¹、正木 美奈¹、貝谷 久宣²

¹医療法人和楽会なごやメンタルクリニック、²医療法人和楽会パニック症研究センター

2-016-2 気分障害における“価値の二極化”の背景に存在する脳内処理メカニズムについての仮説

○池田 裕

光陽会伊都の丘病院精神科

2-016-3 一般成人における主観的健康度に対する小児期の被養育体験、感情気質、睡眠の複合的影響

○大塚 綾乃、井上 猛

東京医科大学病院

2-016-4 難治性うつ状態を呈する患者の病態と行動の特徴

○早坂 友成^{1,2,3}、長島 泉^{1,3}、高江洲 義和^{2,3}、坪井 貴嗣^{2,3}、野崎 和博^{2,3}、今村 弥生^{2,3}、片桐 建志^{2,3}、
栗原 真理子^{2,3}、大江 悠樹^{2,3}、二田 未来³、青鹿 由紀³、渡邊 衡一郎^{2,3}

¹杏林大学保健学部作業療学科、²杏林大学医学部精神神経科学教室、³杏林大学医学部付属病院

2-016-5 時代の変化と軽症うつ病の治療のあり方をめぐって

○徳永 雄一郎¹、奥村 幸祐¹、島松 まゆみ¹、高田 和秀¹、小柳 綾¹、福元 仁¹、増田 将人^{1,2}、
松下 満彦¹、後藤 玲央^{1,2}、川寄 弘詔²

¹不知火病院精神科、²福岡大学医学部精神医学教室

9:40~10:40 一般演題(口演) 18
気分障害 4

司会: 鷲塚 伸介 信州大学医学部精神医学教室

2-018-1 初期診断が気分障害であった患者における抗 NMDA 受容体抗体保有率の検討

○河合 弘樹⁶、高木 学¹、酒本 真次¹、土田 彩加¹、吉村 文太²、矢田 勇慈²、岡久 祐子¹、
来住 由樹²、筒井 幸³、神林 崇⁴、田中 恵子⁵、山田 了士¹

¹岡山大学病院精神科神経科、²地方独立行政法人岡山県精神科医療センター、

³秋田大学医学部付属病院精神科神経科、⁴筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構、⁵新潟大学脳研究所、

⁶岡山大学大学院医歯薬学総合研究科精神神経病態学教室

2-018-2 うつ病の再発予防にベンゾジアゼピンが有用な患者群の同定: 精神病性うつ病への治療戦略

○塩飽 裕紀、藤田 雅子、治徳 大介、杉原 玄一、高橋 英彦

東京医科歯科大学大学院精神行動医科学分野

2-018-3 Venlafaxine とその代謝物に対し、日本人患者における CYP2D6 遺伝子多型が及ぼす薬物動態学的影響について

○佐々木 太郎¹、渡邊 崇^{1,4}、井上 義政¹、佐々木 はづき¹、篠崎 将貴¹、林 有希¹、加藤 和子³、
黒田 仁一²、増井 晃²、古郡 規雄¹、下田 和孝¹

¹獨協医科大学病院精神神経科、²栃木県立岡本台病院、³さくら・ら心療内科、⁴医療法人桂慈会菊池病院

2-018-4 治療抵抗性うつ病に対するケタミン治療への炭酸リチウム前投与の有効性と安全性 - プラセボ対照二重盲検試験 -

○中村 倫之、石橋 正敏、堀川 直希、上松 謙、富田 克、内村 直尚

久留米大学病院精神神経科

2-018-5 特定の遺伝要因をもつ双極性障害 iPS モデル細胞の開発の試み

○高松 岳矢^{1,2}、柳 久美子⁷、馬目 陽子⁶、李 俊錫¹、當山 奏子¹、Dimitar Dimitrov⁵、
原（宮内）央子⁶、長谷川 実奈美⁶、小金測 佳江⁴、早川 朋子⁹、服部 功太郎⁸、功刀 浩⁸、
近藤 毅²、木村 亮介³、高橋 智幸⁵、岡野 ジェイムス洋尚⁶、要 匡⁷、松下 正之¹

¹琉球大学大学院医学研究科分子・細胞生理学講座、²琉球大学大学院医学研究科精神病態医学講座、

³琉球大学大学院医学研究科人体解剖学講座、⁴琉球大学医学部先端医学研究センター、

⁵沖縄科学技術大学院大学細胞分子シナプスユニット、⁶東京慈恵会医科大学再生医学研究部、

⁷国立研究開発法人国立成育医療研究センター、⁸国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、

⁹自治医科大学臨床薬理学講座

10:50～11:50 一般演題（口演）20
児童・思春期・発達障害3・その他

司会：油井 邦雄 藤田医科大学医学部腎泌尿器外科学講座

2-020-1 当院受診中の神経発達症受診者（296名）が合併する体調不良・希死念慮等のアンケート調査

○大塚 明彦、森本 志保
大塚クリニック

2-020-2 WAIS-III 施行時における成人期の ADHD の特徴的な行動

○武田 俊信¹、辻 由依^{2,3}、中島 陽大⁴、井上 美沙⁵

¹龍谷大学文学部、²北海道医療大学大学院、³日本学術振興会特別研究員、⁴医療法人社団洛和会洛和会音羽病院、

⁵三家クリニック

2-020-3 大手製造業における自閉症スペクトラム者の適正配置と WAIS の活用

○齋藤 恒祐¹、深井 航太²、新開 隆弘¹、吉村 玲児¹

¹産業医科大学精神医学教室、²東海大学医学部基盤診療学系衛生学公衆衛生学

2-020-4 英語のみのディスレクシアを呈した一例

○丹治 和世^{1,2}、加藤 進昌^{1,2}

¹公益財団法人神経研究所附属晴和病院、²昭和大学発達障害医療研究所

2-020-5 民間病院にリフレクティングを導入する② -ミスティックに始まりポリティックのみに終わらせないために-

○小林 幹穂¹、渡邊 雅文¹、大瀧 高昭¹、矢原 隆行²

¹富尾会桜が丘病院精神科、²熊本大学大学院人文社会科学部

12:00～13:00 一般演題（口演）22
司法精神医学

司会：佐藤 浩司 群馬県こころの健康センター

2-022-1 精神病患者監置手続

○奥村 克行¹、金川 英雄^{2,3}、石垣 和寿⁴、佐藤 一恵²、庭田 光江²

¹五反田駅前メンタルクリニック、²国立病院機構埼玉病院、³昭和大学精神科、⁴小竹向原こころのクリニック

2-022-2 機械学習・決定木分析を用いた暴力行為の予測モデルの作成と検証

○松原 拓郎、藤田 欣也、茶谷 圭祐、横山 理菜、木崎 裕哉、高嶋 祐大、鈴木 勝彦、水島 健、
松原 三郎

社会医療法人財団松原愛育会松原病院

2-022-3 触法精神障害者に関する「忘れられる権利」について

○山下 真吾、大森 まゆ、大町 佳永、平林 直次

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター



2-022-4 医療刑務所における覚せい剤による精神病性障害の患者の症状・治療反応性

○関口 陽介^{1,2}、奥村 雄介¹、岡田 幸之²

¹東日本矯正医療センター、²東京医科歯科大学大学院

2-022-5 反復窃盗（窃盗癖）に対する条件反射制御法を受けたケースの予後に関する研究

○中元 総一郎

一般財団法人成研会結のぞみ病院

13:40～14:40 一般演題（口演）24
研修生・医学部生演題 2

司会：橋高 一 福島県立矢吹病院

2-024-1 スボレキサントによる抗利尿ホルモン不適合分泌症候群が疑われたうつ病の一例

○高野 学、岡田 剛史、高久 奈津美、橋本 祐希、関谷 竜彦、福田 周一、西依 康、小林 聡幸、須田 史朗

自治医科大学附属病院

2-024-2 睡眠中の自律神経応答を用いた腕時計型・24 時間メンタル・ホルターの開発とうつ病スクリーニング精度評価

○平塚 巧真¹、松井 岳巳¹、小原 右輔²、仮屋 暢聡²、孫 光縞³、榛葉 俊一⁴、井上 智子¹

¹首都大学東京、²まいんずたわーメンタルクリニック、³電気通信大学、⁴静岡済生会総合病院

2-024-3 NDB オープンデータに基づくクロザピン使用の都道府県比較

○樋口 早子¹、早川 達郎²、近藤 忠之²、草西 俊²、榎本 哲郎²、柳内 秀勝¹、吉村 健佑³、酒匂 赤人¹

¹国立国際医療研究センター国府台病院総合内科、²国立国際医療研究センター国府台病院精神科、

³千葉大学医学部付属病院次世代医療構想センター

2-024-4 認知機能低下やせん妄のリスクから高齢者に特に慎重な投与を要する薬物の日本での処方～NDBオープンデータ

○澁谷 唯子¹、早川 達郎²、樋口 早子¹、増井 良則¹、近藤 忠之²、草西 俊²、柳内 秀勝¹、吉村 健佑³、酒匂 赤人¹

¹国立国際医療研究センター国府台病院総合内科、²国立国際医療研究センター国府台病院精神科、

³千葉大学医学部付属病院次世代医療構想センター

14:50～15:50 一般演題（口演）26
精神医学教育

司会：小田原 俊成 横浜市立大学保健管理センター

2-026-1 研修医の抑うつとバーンアウトの持続に関連する気質性格特性

○三好 良英¹、松尾 寿栄¹、小松 弘幸²、石田 康¹

¹宮崎大学医学部臨床神経科学講座精神医学分野、²宮崎大学医学部医療人育成支援センター

2-026-2 聖マリアンナ医科大学における超短期間少人数制精神科クリニカル・クラークシップの紹介

○小口 芳世¹、櫛野 宣久¹、諸川 由実代²、塚原 さち子¹、池田 和弘¹、立野 玄一郎¹、橋本 知明¹、三宅 誕実¹、袖長 光知穂¹、長谷川 浩³、安藤 久美子¹、小野 和哉¹、古茶 大樹¹

¹聖マリアンナ医科大学神経精神科学教室、²医療法人大和会西毛病院、³聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院

2-026-3 わが国の精神科医不足に関する研究 -官庁統計を用いた経時分析-

○花岡 晋平^{1,2}、松本 邦愛²、平田 豊明^{1,3}、長谷川 友紀²

¹千葉県精神科医療センター、²東邦大学医学部社会医学講座、³医療法人学術会木村病院

2-026-4 学生の認識を深めるための精神科看護教育の試み

○青山 洋
青空精神科・心療内科精神科・心療内科

2-026-5 単回の精神科外来研修が研修医の精神疾患に対するイメージに与える影響

○松坂 雄亮^{1,2}、長谷 敦子²、浜田 久之²、木下 裕久¹、今村 明¹、小澤 寛樹¹
¹長崎大学病院精神科神経科、²長崎大学病院医療教育開発センター

16:00～17:00 **一般演題（口演）28**
薬物療法

司会：渡部 康 一般財団法人桜ヶ丘病院法人部・診療部

2-028-1 向精神薬関連眼疾患：ベンゾジアゼピン眼症を中心に

○齊尾 武郎
SMBC日興証券健康管理室

2-028-2 入院患者における向精神薬使用と転倒・転落リスクに関する症例対照研究

○森下 千尋¹、犬伏 厚夫²、志村 哲祥¹、石橋 由基³、三木 保⁴、井上 猛¹
¹東京医科大学精神医学分野、²東京医科大学病院薬剤部、³慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室、⁴東京医科大学医療の質・安全管理学分野

2-028-3 せん妄に対する薬物療法の検討

○沖野 和磨^{1,2}、富岡 大^{1,2}、山田 浩樹^{1,2}、野崎 伸次^{1,2}、岩波 明¹、稲本 淳子^{1,2}
¹昭和大学横浜市北部病院精神科、²昭和大学医学部精神医学講座

2-028-4 抗不安薬・睡眠薬処方、および飲酒習慣が男性勤労者の外傷リスクに及ぼす影響に関する薬剤疫学的調査

○稲垣 中¹、菊地 俊暁²、岸 知輝³、山内 慶太⁴
¹青山学院大学教育人間科学部、²慶應義塾大学医学部精神神経科学教室、³杏林大学保健学部看護学科、⁴慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科

2-028-5 抗不安薬・睡眠薬処方、および飲酒習慣が女性勤労者の外傷リスクに及ぼす影響に関する薬剤疫学的調査

○稲垣 中¹、菊地 俊暁²、岸 知輝³、山内 慶太⁴
¹青山学院大学教育人間科学部、²慶應義塾大学医学部精神神経科学教室、³杏林大学保健学部看護学科、⁴慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科



9月29日(火) J会場

8:30~10:30

シンポジウム 36

神経免疫学と精神医学の狭間で

司会：神林 崇
来住 由樹

茨城県立こころの医療センター/筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構
地方独立行政法人岡山県精神科医療センター

S36-1

抗体介在性自己免疫性脳炎をめぐる新たな広がり

○田中 恵子^{1,2}

¹新潟大学脳研究所モデル動物開発分野、²福島県立医科大学多発性硬化症治療学講座

S36-2

自己抗体を通じた精神疾患のディメンショナルアプローチ

○高木 学、河合 弘樹、樋之津 健二、酒本 真次、岡久 祐子、山田 了士
岡山大学病院精神科神経科

S36-3

精神科医が遭遇することがある、慢性～亜急性経過の自己免疫性脳炎と、その治療後の長期経過について

○千葉 悠平^{1,2}、阿部 紀絵²、服部 早紀²、伊倉 崇浩²、斎藤 知之²、須田 顕²、藤城 弘樹⁴、
勝瀬 大海²、西野 精治³、菱本 明豊²

¹積愛会横浜舞岡病院精神科、²公立大学法人横浜市立大学医学部精神医学教室、

³スタンフォード大学医学部精神医学、⁴医療法人花咲会かわさき記念病院

S36-4

神経細胞表面抗原 (Neuronal cell surface antigens : NSAs) により生じうる病態

○筒井 幸^{1,4}、馬越 秋瀬¹、柴田 菜那¹、奥口 悠紀²、神林 崇^{3,7}、田中 恵子⁵、清水 徹男⁶、
三島 和夫¹

¹秋田大学附属病院神経科精神科、²医療法人慧真会協和病院、³茨城県立こころの医療センター、

⁴平鹿総合病院心療センター、⁵新潟大学脳研究所モデル動物開発分野、⁶秋田県精神保健福祉センター、

⁷筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構

〈コーディネーター〉 神林 崇 茨城県立こころの医療センター/筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構
来住 由樹 地方独立行政法人岡山県精神科医療センター

10:40~12:40

シンポジウム 44

ノルアドレナリン制御と難治性気分障害

司会：小高 文聰
高野 晴成

東京慈恵会医科大学精神医学講座
国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

S44-1

ノルアドレナリンと難治性気分障害の治療

○小高 文聰

東京慈恵会医科大学精神医学講座

S44-2

中枢性ノルエピネフリントランスポーター・イメージングとうつ病および抗うつ薬の評価

○高野 晴成

国立精神・神経医療研究センター脳病態統合イメージングセンター

S44-3

発達障害を併存する難治性気分障害

○藤野 純也^{1,2}

¹昭和大学発達障害医療研究所、²東京医科歯科大学医学部附属病院

S44-4

てんかんを併存したうつ病の治療戦略

○岩崎 弘

医療法人社団静心会常盤台病院

〈コーディネーター〉 小高 文聰 東京慈恵会医科大学精神医学講座

13:40~15:40 シンポジウム 53

これからの発達障害医療の展望と児童精神保健に期待されるもの

司会：大高 一則 医療法人大高クリニック精神科
大嶋 正浩 医療法人社団至空会メンタルクリニック・ダダ

S53-1 小児科における発達障害児支援の現状

○小林 潤一郎
明治学院大学

S53-2 アンケートからみえる児童精神科開業医の現状

○原田 剛志
医療法人悠志会パークサイドこころの発達クリニック

S53-3 成人の発達障害の支援とその限界

○米田 衆介
明神下診療所

S53-4 児童・思春期精神保健および発達障害医療に関する現状と厚生労働省の施策について

○久我 弘典
厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部精神・障害保健課

S53-5 【指定発言】

○神尾 陽子
医療法人社団神尾陽子記念会発達障害クリニック

〈コーディネーター〉 大高 一則 医療法人大高クリニック精神科
原田 剛志 パークサイドこころの発達クリニック

16:00~18:00 シンポジウム 62

激動するわが国の薬物乱用・依存問題：最近のトピックス

司会：松本 俊彦 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
成瀬 暢也 埼玉県立精神医療センター精神科

S62-1 わが国における市販薬乱用の実態と課題

○松本 俊彦
国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部

S62-2 カフェインを主成分とする錠剤は現代の危険ドラッグだ

○上條 吉人
埼玉医科大学病院救急科

S62-3 大麻を巡る国際社会の動向とわが国の現状

○船田 正彦
国立精神・神経医療研究センター

S62-4 オピオイドクライストは何か？日本はどのように備えればよいのか？

○山口 重樹
獨協医科大学医学部麻醉科学講座



S62-5

市販薬・スマートドラッグ問題について

○成瀬 暢也

埼玉県立精神医療センター精神科

〈コーディネーター〉 成瀬 暢也
松本 俊彦

埼玉県立精神医療センター精神科

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

9月29日(火) K会場

8:30~10:30

シンポジウム 37

急性精神病の診断と治療の現状と今後の課題

司会：須賀 英道 龍谷大学短期大学部
金沢 徹文 大阪医科大学神経精神医学教室

S37-1

非定型精神病と薬剤性錯乱の鑑別

○数田 俊成¹、三浦 伸義¹、中山 和彦^{1,2}¹医療法人社団心と和会八千代病院、²東京慈恵会医科大学精神医学講座

S37-2

非定型精神病としての緊張病

○加藤 悦史^{1,2}¹岡崎医療刑務所、²愛知医科大学精神科学講座

S37-3

減薬により急性錯乱状態で再発した2例の非定型精神病に関する考察

○今津 伸一、金沢 徹文

大阪医科大学附属病院

S37-4

急性精神病状態を診分ける -非定型精神病と統合失調症、広汎性発達障害と統合失調症

○八田 耕太郎

順天堂大学医学部附属練馬病院メンタルクリニック

S37-5

【指定発言】

○針間 博彦

東京都立松沢病院

S37-6

【指定発言】

○須賀 英道

龍谷大学短期大学部

〈コーディネーター〉 須賀 英道 龍谷大学短期大学部
金沢 徹文 大阪医科大学神経精神医学教室

シンポジウム 45

取り下げ

13:40~15:40

シンポジウム 54

再考：統合失調症急性期治療 -リアルワールドエビデンスとRCTとの対比

司会：伊豫 雅臣 千葉大学大学院医学研究院精神医学
八田 耕太郎 順天堂大学医学部附属練馬病院

S54-1

ドパミン過感受性精神病（DSP）の概要

○伊豫 雅臣

千葉大学大学院医学研究院精神医学

S54-2

統合失調症急性期治療におけるリアルワールドエビデンスとRCTの対比

○八田 耕太郎

順天堂大学医学部附属練馬病院メンタルクリニック



S54-3

難治性統合失調症（ドパミン過感受性精神病）への m-ECT の有効性

○西本 雅彦、三浦 賢吾、富山 恵一郎、幸田 文男、関口 潔、小坂 淳、渡邊 己弦、
渡邊 俊太郎、黒岩 隆

医療法人社団青木末次郎記念会相州病院医局

S54-4

クロザピンの有用性を高める為に必要な今日的課題～有害事象後のリチャレンジから地域全体での取り組みまで

○来住 由樹、矢田 勇慈、石津 すぐる、児玉 匡史

地方独立行政法人岡山県精神科医療センター

〈コーディネーター〉 杉山 直也 公益財団法人復康会沼津中央病院
八田 耕太郎 順天堂大学医学部附属練馬病院
来住 由樹 地方独立行政法人岡山県精神科医療センター

16:00～18:00

シンポジウム 63

精神科ブレインバンク各拠点からの成果と今後の臨床への展望 -精神科ブレインバンクへの期待 その4-

司会：新井 哲明

筑波大学附属病院

河上 緒

東京都健康長寿医療センター/東京都立松沢病院/東京都医学総合研究所

S63-1

精神神経科の死後脳研究の過去・現在・未来とブレインバンクへの期待

○入谷 修司

名古屋大学医学部付属病院

S63-2

臨床神経病理研究による前頭側頭葉変性症の病態解明～都立松沢病院ブレインバンクからの報告～

○河上 緒^{1,2}、大島 健一²、新里 和弘²

¹東京都医学総合研究所認知症プロジェクト、²東京都立松沢病院

S63-3

岡山地域における精神・神経疾患ブレインバンク：現状と展望

○横田 修^{1,2,3,4}、三木 知子^{1,2,3,4}、原口 俊³、石津 秀樹⁴、寺田 整司²、黒田 重利^{2,4}、山田 了士²

¹きのこエスポアル病院精神科、²岡山大学大学院精神神経病態学、³国立病院機構南岡山医療センター、

⁴慈恵病院精神科

S63-4

福島精神疾患ブレインバンクの成果と今後の展望

○國井 泰人^{1,2}、長岡 敦子¹、泉 竜太¹、日野 瑞城¹、矢部 博興¹

¹福島県立医科大学医学部神経精神医学講座、²福島県立医科大学会津医療センター精神医学講座

S63-5

名古屋ブレインバンクコンソーシアムのこれまでの取り組みと展望

○関口 裕孝¹、藤田 潔¹、羽瀨 知可子²、合澤 祐²、粉川 進²、鳥居 洋太^{3,5}、三輪 綾子³、

川島 邦裕³、岩井 清³、平野 光彬^{4,5}、吉田 眞理⁴、入谷 修司⁵

¹桶狭間病院藤田こころケアセンター、²愛知県精神医療センター、³特定医療法人八誠会もりやま総合心療病院、

⁴愛知医科大学病院、⁵名古屋大学医学部付属病院

S63-6

〔指定発言〕

○池田 研二

香川大学炎症病理学

〈コーディネーター〉 入谷 修司 名古屋大学大学院医学系研究科精神医学
河上 緒 東京都健康長寿医療センター/東京都立松沢病院/東京都医学総合研究所

9月29日(火) L会場

8:30~10:30 シンポジウム 38
不安症・強迫症の診療ガイドライン

司会：清水 栄司 千葉大学大学院医学研究院認知行動生理学
井上 猛 東京医科大学精神医学分野

S38-1 パニック症の診療ガイドライン

○塩入 俊樹
岐阜大学医学部附属病院

S38-2 本邦における強迫症（OCD）の治療ガイドライン

○松永 寿人
兵庫医科大学精神科精神科神経科講座

S38-3 社交不安症の診療ガイドライン

○朝倉 聡¹、山田 恒²、藤井 泰¹、三井 信幸¹、吉永 尚紀³、金井 嘉宏⁴
¹北海道大学保健センター・大学院医学研究院精神医学教室、²兵庫医科大学精神科神経科学講座、³宮崎大学テニユアトラック推進機構、⁴東北学院大学教養学部人間科学科

S38-4 全般不安症の診療ガイドライン

○大坪 天平
東京女子医科大学東医療センター精神科

〈コーディネーター〉 井上 猛 東京医科大学精神医学分野
清水 栄司 千葉大学大学院医学研究院認知行動生理学

10:40~12:40 シンポジウム 46
医療観察法対象者の逸脱行動の病態理解と治療戦略 -措置入院への応用を視野に入れて-

司会：五十嵐 慎人 千葉大学社会精神保健教育研究センター法システム研究部門
村上 優 独立行政法人国立病院機構さいがた医療センター

S46-1 医療観察法対象者の予後

○竹田 康二^{1,2}
¹国立精神神経医療研究センター病院精神科、²東京医科歯科大学医学部附属病院

S46-2 行動制限を繰り返す長期入院者の特徴と課題

○村杉 謙次
独立行政法人国立病院機構小諸高原病院

S46-3 重複精神障害を有する対象者の診断を超えた理解

○平林 直次
国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

S46-4 共通評価項目から作るケースフォーミュレーション

○壁屋 康洋
国立病院機構榊原病院



S46-5 複雑・困難事例に対する多施設コンサルテーションの試み

○今村 扶美、鈴木 敬生
国立精神・神経医療研究センター病院

〈コーディネーター〉 平林 直次 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
五十嵐 禎人 千葉大学社会精神保健教育研究センター法システム研究部門
村杉 謙次 独立行政法人国立病院機構小諸高原病院

13:40~15:40 シンポジウム 55
ADHD の診断と治療～最近の知見

司会：岩波 明 昭和大学医学部精神医学講座
横山 富士男 埼玉医科大学病院神経精神科・心療内科

S55-1 大学病院精神科における成人期 ADHD 診療ー通常外来での「対応医」育成の取り組みー

○松岡 孝裕、下出 崇輝、横山 富士男、松尾 幸治
埼玉医科大学神経精神科・心療内科

S55-2 成人期 ADHD の鑑別診断～クリニックの診察室から

○柏 淳
医療法人社団ハートクリニックハートクリニック横浜診療部

S55-3 成人期 ADHD に対する精神科ショートケアプログラム

○佐賀 信之^{1,2}、横井 英樹¹、五十嵐 美紀¹、岩波 明^{1,2}
¹昭和大学附属烏山病院、²昭和大学医学部精神医学講座

S55-4 成人期神経発達障害診断における ADOS-2 の検討

○林 若穂、花輪 洋一、岩見 有里子、青柳 啓介、佐賀 信之、中村 暖、岩波 明
昭和大学附属烏山病院精神科

S55-5 〔指定発言〕

○小野 和哉
聖マリアンナ医科大学病院

〈コーディネーター〉 岩波 明 昭和大学医学部精神医学講座

16:00~18:00 シンポジウム 64
アルツハイマー病における神経精神症状の生物学的研究の新たな展開

司会：永田 智行 医療法人永光会あいらの森ホスピタル
笠貫 浩史 順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター

S64-1 神経精神症状へのアプローチのこれまでとこれから

○品川 俊一郎
東京慈恵医科大学附属病院神経精神科

S64-2 アルツハイマー病における神経精神症状の生物学的指標の最新知見

○小林 伸行^{1,2}
¹東京慈恵会医科大学ウイルス学講座、²東京慈恵会医科大学精神医学講座

S64-3 アルツハイマー病における神経病理学的マーカーと神経精神症状

○笠貫 浩史
順天堂東京江東高齢者医療センターメンタルクリニック

S64-4

形態・機能画像からわかるアルツハイマー病の神経精神症状の神経基盤

○松岡 照之

京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学

S64-5

アルツハイマー病（AD）患者における神経精神症状への治療展望

○永田 智行

医療法人永光会あいらの森ホスピタルメンタルヘルス科

〈コーディネーター〉 品川 俊一郎 東京慈恵医科大学附属病院精神神経科



9月29日(火) M会場

8:30~10:10 ワークショップ7 ＜脳波の基礎コース＞精神科医が脳波を学ぶ意義と研修方法

司会：山内 俊雄 埼玉医科大学
太田 克也 医療法人明柳会恩田第二病院

WS7 〈講演者〉 山内 俊雄 埼玉医科大学
渡邊 さつき 埼玉医科大学病院神経精神科・心療内科
原 恵子 原クリニック精神科
太田 克也 医療法人明柳会恩田第二病院
高木 俊輔 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科精神行動医学

〈コーディネーター〉 原 恵子 原クリニック精神科
矢部 博興 福島県立医科大学医学部神経精神医学講座

10:20~12:00 ワークショップ11 (PCN 編集委員会) 現役エディターによる論文の書き方指導の講義と論文投稿の個別相談会

司会：神庭 重信 九州大学病院
三村 将 慶應義塾大学病院

WS11 〈講演者〉 鈴木 道雄 富山大学附属病院
橋本 亮太 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部
内田 裕之 慶應義塾大学病院
加藤 忠史 順天堂大学
藤本 岳 京都大学医学部附属病院

〈コーディネーター〉 橋本 亮太 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部

12:20~13:20 教育講演8

司会：鈴木 道雄 富山大学学術研究部医学系神経精神医学講座

EL8 精神科臨床での神経心理・神経画像検査の意義

○村井 俊哉
京都大学大学院医学研究科精神医学教室



13:40~15:40 委員会シンポジウム18 (災害支援委員会) 自然災害への備えと対応～BCPと受援・支援～

司会：富田 博秋 東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野
高橋 晶 筑波大学医学医療系災害・地域精神医学

CS18-1 平成30年7月豪雨災害における広島県保健師チーム統括班の活動から～多職種連携と受援について～

○服多 美佐子¹、山下 十喜²、東久保 ちあき²
¹広島県健康福祉局健康対策課、²広島県健康福祉局地域包括ケア・高齢者支援課

CS18-2 局地～広域の自然災害への精神支援体制の現状と展望○高橋 晶^{1,2}¹筑波大学医学医療系災害・地域精神医学、²茨城県立こころの医療センター**CS18-3 西日本豪雨災害により病棟を閉じ精神科病院から心療クリニックに転換した経験 -情緒的混乱を抱える場-**

○浅田 護

医療法人あさだ会浅田心療クリニック

CS18-4 東日本大震災を経験した東北大学病院の BCP 策定ステップ

○佐々木 宏之

東北大学災害科学国際研究所

CS18-5 精神科医療機関と精神保健体制の災害への備え

○富田 博秋

東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野

〈コーディネーター〉 富田 博秋 東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野
 高橋 晶 筑波大学医学医療系災害・地域精神医学

16:00～18:00 委員会シンポジウム 21 (ECT・rTMS 等検討委員会)
保険診療としての rTMS 療法の均てん化

司会：水野 雅文 東邦大学
 三村 将 慶應義塾大学

CS21-1 ニューロモデュレーションにおける rTMS 療法の位置づけ○中村 元昭^{1,2}¹昭和大学発達障害医療研究所、²神奈川県立精神医療センター**CS21-2 単科精神科病院における rTMS 療法の体制作り**

○伊津野 拓司

神奈川県立精神医療センター

CS21-3 慈恵医大病院における rTMS 療法の実際○鬼頭 伸輔^{1,2}、山崎 龍一²、松田 勇紀²、繁田 雅弘²¹国立研究開発法人国立精神・神経医療センター病院、²東京慈恵会医科大学精神医学講座**CS21-4 診療所における TMS 療法の現状**

○五十嵐 良雄

メディカルケア虎ノ門精神科

CS21-5 磁気刺激療法の現状と課題：臨床 TMS 研究会の立場から

○三村 将

慶應義塾大学精神神経科学教室

〈コーディネーター〉 中村 元昭 昭和大学発達障害医療研究所/神奈川県立精神医療センター
 鬼頭 伸輔 国立研究開発法人国立精神・神経医療センター病院/東京慈恵会医科大学



9月29日(火) N会場

8:30~10:30

シンポジウム 39

認知症の人の生活を支える地域の取り組みに精神科医ができること -Community based Psychiatry

司会：内田 直樹 医療法人すずらん会たろうクリニック
栗田 主一 東京都健康長寿医療センター

S39-1 京都での認知症支援のための異業種連携の試み

○成本 迅
京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学

S39-2 認知症フレンドリーコミュニティ実現のために相模原市でしていること

○大石 智
北里大学医学部精神科学

S39-3 認知症を地域で支える～在宅医療、湘南オレンジプラン、SHIGETA ハウスプロジェクト～

○内門 大丈
医療法人社団みのり会湘南いなほクリニック

S39-4 認知症フレンドリーシティに向けた福岡市での取り組み

○内田 直樹¹、園田 薫^{1,4}、勢島 奏子^{1,5}、浦島 創¹、笠井 浩一²、尾籠 晃司³
¹たろうクリニック、²福岡市保健福祉局高齢社会部認知症支援課、³福岡国際医療福祉大学、
⁴医療法人恒昭会藍野病院、⁵京都大学医学部附属病院

〈コーディネーター〉 内田 直樹 医療法人すずらん会たろうクリニック
栗田 主一 東京都健康長寿医療センター

10:40~12:40

シンポジウム 47

物質使用障害対策の予防介入、早期介入、地域保健

司会：齋藤 利和 北仁会幹メンタルクリニック
長 徹二 名古屋医専

S47-1 アルコール依存症の早期介入体制の構築に向けて

○成瀬 暢也
埼玉県立精神医療センター精神科

S47-2 『保健所における物質使用障がいへの関わりについて』

○西口 心
大阪府和泉保健所

S47-3 被災地でのアルコール問題への初期介入とその後の苦悩

○高柳 伸康
からころステーション

S47-4 依存症からの回復に向けて～地域とのつながりから～

○岡村 真紀
医療法人信和会高嶺病院

S47-5 「地域から イージーアクセス お気軽に」

○長 徹二
一般財団法人信貴山病院ハートランドしづさん臨床教育センター

S47-6

〔指定発言〕

○宮田 久嗣
東京慈恵会医科大学附属病院

S47-7

〔指定発言〕

○齋藤 利和
北仁会幹メンタルクリニック

〈コーディネーター〉 田中 増郎 公益財団法人慈圭会慈圭病院
成瀬 暢也 埼玉県立精神医療センター
長 徹二 名古屋医専

13:40～15:40

シンポジウム 56

日常精神科臨床で遭遇する対処困難な過眠の見立てと対応

司会：神林 崇 筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構
小曾根 基裕 久留米大学病院精神神経科

S56-1

中枢性過眠症と症候性過眠

○神林 崇^{1,2}、今西 彩³、大森 佑貴⁴、富永 杜絵¹、吉沢 和久³、小野 太輔⁵、筒井 幸³、
石戸 秀明^{1,6}、近藤 英明¹

¹筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構、²茨城県立こころの医療センター、
³秋田大学大学院医学系研究科精神科学講座、⁴東京都健康長寿医療センター精神科、
⁵スタンフォード大学睡眠生体リズム研究所、⁶獨協医科大学埼玉医療センター

S56-2

睡眠時無呼吸症候群における主観的・客観的眠気とその予測因子

○内海 智博¹、小曾根 基裕²

¹東京慈恵会医科大学附属病院精神神経科、²久留米大学医学部神経精神医学講座

S56-3

気分障害における過眠への対応

○鈴木 正泰
日本大学医学部精神医学系

S56-4

認知症における眠気・過眠の見立てとその対応

○足立 浩祥^{1,2}

¹大阪大学キャンパスライフ健康支援センター、²大阪大学医学部附属病院睡眠医療センター

S56-5

低用量アリピプラゾールが起床困難（発達障害患者を含む）にもたらす効果

○小鳥居 望^{1,2}、大島 勇人¹、森 裕之¹、土生川 光成¹、比江嶋 啓至¹、和佐野 研二郎¹、
加藤 隆郎¹、小曾根 基裕¹、内村 直尚¹

¹久留米大学医学部神経精神医学講座、²医療法人仁祐会小鳥居諫早病院

S56-6

〔指定発言〕

○小曾根 基裕
久留米大学病院精神神経科

〈コーディネーター〉 小曾根 基裕 久留米大学病院精神神経科
小鳥居 望 医療法人仁祐会小鳥居諫早病院

シンポジウム 65

取り下げ



9月29日(火) O会場

8:30~10:10 ワークショップ 8 (精神神経学雑誌編集委員会) 精神神経誌に掲載される論文の書き方

司会：大森 哲郎 徳島大学大学院医歯薬学研究部精神医学分野
細田 眞司 こころの診療所細田クリニック

WS8 〈講演者〉 根本 隆洋 東邦大学医学部精神神経医学講座
池淵 恵美 帝京平成大学大学院臨床心理学研究科
山口 博行 横浜市立大学精神医学教室
住谷 さつき 徳島大学医学部大学院医学系研究科キャンパスライフ健康支援センター
熊倉 陽介 東京大学精神保健学分野

〈コーディネーター〉 大森 哲郎 徳島大学大学院医歯薬学研究部精神医学分野
細田 眞司 こころの診療所細田クリニック

委員会シンポジウム 15 取り下げ

ワークショップ 13 取り下げ

16:00~17:40 ワークショップ 14 日常診療に診療ガイドラインは役に立つのか？

司会：上野 修一 愛媛大学医学部附属病院
渡邊 衡一郎 杏林大学医学部付属病院

WS14 〈講演者〉 橋本 亮太 国立精神・神経医療研究センター
飯田 仁志 福岡大学
山田 恒 兵庫医科大学
福本 健太郎 岩手医科大学

〈コーディネーター〉 上野 修一 愛媛大学医学部附属病院
橋本 亮太 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

9月29日(火) P会場

8:30~10:30

シンポジウム 40

周産期における母親のメンタルヘルスと子どもの養育支援

司会：渡部 京太
岡田 俊広島市こども療育センター
国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的・発達障害研究部

S40-1

妊産婦のメンタルヘルスの実態と支援の方向性

○森川 真子

名古屋大学大学院医学系研究科障害児（者）医療学寄附講座

S40-2

母親のメンタルヘルスと子どもの心理的・情緒的発達の相互作用

○岡田 俊

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的・発達障害研究部

S40-3

メンタルヘルス不調を抱える産後女性への認知行動療法に基づく支援

○蟹江 絢子^{1,2}、中嶋 愛一郎²、久保田 智香¹、伊藤 正哉²、堀越 勝^{1,2}¹国立精神・神経医療研究センター病院、²国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

S40-4

養育困難を抱える乳幼児への養育スキルの支援

○細金 奈奈

恩賜財団母子愛育会総合母子保健センター愛育クリニック小児精神保健科

S40-5

〔指定発言〕

○小平 雅基

社会福祉法人恩賜財団母子愛育会総合母子保健センター愛育クリニック

〈コーディネーター〉 岡田 俊 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的・発達障害研究部
小平 雅基 社会福祉法人恩賜財団母子愛育会総合母子保健センター愛育クリニック

10:40~12:40

シンポジウム 48

認知症の人に対して医師に求められる態度と言葉

司会：宮岡 等
繁田 雅弘北里大学医学部精神科学
東京慈恵会医科大学精神医学講座

S48-1

認知症の人に対して医師に求められる態度と言葉～初診時～

○大石 智

北里大学医学部精神科学

S48-2

今の自分でよいと自信を持てる言葉こそ -診断と見通しについての対話

○上田 諭

東京医療学院大学保健医療学部リハビリテーション学科

S48-3

治療について対話する時

○小田 陽彦

兵庫県立ひょうごこころの医療センター老年精神科

S48-4

介護する人から行動や心理面の変化について相談された時 -認知症の行動になぜを考える必要性

○上村 直人

高知大学医学部附属病院



S48-5 認知症の人に対して医師に求められる態度と言葉～大きな変化の認められない日頃の診療に際して～

○内田 直樹
たろうクリニック

〈コーディネーター〉 宮岡 等 北里大学医学部精神科学
大石 智 北里大学医学部精神科学

13:40～15:40 シンポジウム 57
精神医療化の必然と薬物療法化の弊害

司会：宮岡 等 北里大学医学部精神科学
山下 達久 からすま五条・やましたクリニック

S57-1 精神医療化と脱差別化

○永田 利彦
壺燈会なんば・ながたメンタルクリニック

S57-2 注意欠如・多動症の啓発と精神医療化

○岡田 俊
国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的・発達障害研究部

S57-3 社交不安症と治験広告

○山田 恒
兵庫医科大学病院

S57-4 摂食障害とファッション産業

○磯部 昌憲
京都大学精神科神経科

〈コーディネーター〉 永田 利彦 壺燈会なんば・ながたメンタルクリニック
宮岡 等 北里大学医学部精神科学

16:00～18:00 シンポジウム 66
不安症と心的外傷性ストレス障害 –類似点と差異点–

司会：佐々木 司 東京大学大学院教育学研究科総合教育科学専攻身体教育学講座
井上 猛 東京医科大学精神医学分野

S66-1 不安症と心的外傷後ストレス障害の共通する特徴

○井上 猛
東京医科大学精神医学分野

S66-2 PTSD と不安症：症候論的検討

○金 吉晴
国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

S66-3 複雑性 PTSD と不安症 –不安・抑うつ発作（貝谷）～各種不安症との関連について

○原田 誠一
原田メンタルクリニック

S66-4

不安・抑うつ発作の臨床特徴 -複雑性 PTSD と類似し非なるもの-

○貝谷 久宣

医療法人和楽会パニック症研究センター

〈コーディネーター〉

貝谷 久宣

医療法人和楽会パニック症研究センター

原田 誠一

原田メンタルクリニック、東京認知行動療法研究所



9月29日(火) Q会場

8:30~10:10 ワークショップ9 不安の精神療法 -日常診療でどう進めるか

司会：北西 憲二 森田療法研究所・北西クリニック
中村 敬 東京慈恵会医科大学附属第三病院精神神経科・森田療法センター

WS9 〈講演者〉 菊地 俊暁 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室
村山 桂太郎 九州大学病院精神科神経科
岩木 久満子 顕メンタルクリニック
〈コーディネーター〉 中村 敬 東京慈恵会医科大学附属第三病院精神神経科・森田療法センター

10:40~12:40 委員会シンポジウム16(精神保健に関する委員会) 子供の自殺を防ぐために精神科医ができること

司会：太刀川 弘和 筑波大学医学医療系臨床医学域災害・地域精神医学
張 賢徳 帝京大学精神科

CS16-1 疫学研究と思春期の自殺予防
○安藤 俊太郎
東京大学医学部附属病院精神神経科

CS16-2 子どもの自殺企図 -救急の現場から
○立花 良之¹、辻 聡²
¹国立成育医療研究センターこころの診療部乳幼児メンタルヘルス診療科、
²国立研究開発法人国立成育医療研究センター

CS16-3 学校コミュニティにおける自殺対策
○二宮 貴至
浜松市精神保健福祉センター

CS16-4 子供の自殺リスク評価と介入
○三上 克央
東海大学医学部医学科専門診療学系精神科学
〈コーディネーター〉 太刀川 弘和 筑波大学医学医療系臨床医学域災害・地域精神医学
張 賢徳 帝京大学精神科

13:40~15:40 シンポジウム58 「内因性うつ病」を多面的に把握する

司会：井上 猛 東京医科大学精神医学分野

S58-1 内因性概念は何のために -うつ病の場合-
○大前 晋
国家公務員共済組合連合会虎の門病院精神科

S58-2 了解概念からみた内因性うつ病
○熊崎 努
東京農工大学保健管理センター

S58-3 うつ病の病前性格論と日本文化論

○清水 光恵

伊丹健康福祉事務所/兵庫県精神保健福祉センター

S58-4 内因性うつ病を「実証的に」考える○玉田 有^{1,2}¹虎の門病院分院精神科、²東京医科大学精神医学分野

〈コーディネーター〉 玉田 有 虎の門病院分院精神科/東京医科大学精神医学分野/虎の門病院精神科

16:00~18:00 シンポジウム 67**医学生と研修医と専攻医に精神医学・医療の魅力を伝える**司会：福田 正人 群馬大学大学院医学系研究科神経精神医学
米田 博 大阪医科大学統合医学講座神経精神医学教室**S67-1 シームレスな医師養成システムを目指した医学教育改革**

○米田 博

大阪医科大学医学部神経精神医学教室

S67-2 医学生と研修医のレジリエンスとプロフェッショナリズムを育む -名古屋市立大学の取り組み

○渡邊 孝文、明智 龍男

名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知・行動医学分野

S67-3 多様なニーズに応えるフィールド作り

○近藤 伸介

東京大学医学部附属病院精神神経科

S67-4 どう伝えるか、どう学ぶか -群馬大学での経験から考える“2つ”の教育-

○藤平 和吉

群馬大学大学院医学系研究科神経精神医学

〈コーディネーター〉 福田 正人 群馬大学大学院医学系研究科神経精神医学
米田 博 大阪医科大学統合医学講座神経精神医学教室



9月29日(火) R会場

シンポジウム 41

取り下げ

10:40～12:40 シンポジウム 49

災害メンタルヘルスを中心とする自然災害への学際的アプローチ -東日本大震災から10年の節目に向けて

司会：今村 文彦 東北大学災害科学国際研究所
富田 博秋 東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野/東北大学災害科学国際研究所

S49-1 津波のリアルタイム被害予測

○越村 俊一
東北大学災害科学国際研究所

S49-2 バーチャル・リアリティ技術と避難行動

○浅井 光輝
九州大学

S49-3 災害情報のアーカイブ

○柴山 明寛
東北大学災害科学国際研究所

S49-4 文化の多様性と災害

○ボレー セバスチャン
東北大学災害科学国際研究所

S49-5 災害研究の起点としての災害精神医学研究の可能性

○富田 博秋^{1,2}
¹東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野、²東北大学災害科学国際研究所災害精神医学分野

〈コーディネーター〉 富田 博秋 東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野

13:40～15:40 シンポジウム 59

日本と中国における内観療法の発展と展望

司会：堀井 茂男 公益財団法人慈圭会慈圭病院
山田 了士 岡山大学大学院精神神経病態学教室

S59-1 中国における内観療法の歴史と現状

○盧 立群
奈良女子大学人間文化研究科

S59-2 中国での内観のエビデンス探求について

○夏 寒松
中国上海市浦東新区浦南医院

S59-3 内観療法の国際化をめぐる

○真栄城 輝明
大和内観研修所(佛教大学)

S59-4 日本における内観研究の方向性

○河合 啓介
国立国際医療研究センター国府台病院心療内科

S59-5 内観の国際化への期待、特に日本と中国において

○小澤 寛樹
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科医療科学専攻精神神経科学

〈コーディネーター〉 山田 了士 岡山大学大学院精神神経病態学教室
塚崎 稔 医療法人清潮会三和中央病院

16:00～18:00 **シンポジウム 68**
当事者の持つ力を引き出し、伸ばしていくためにできること

司会：秋山 剛 NTT東日本関東病院
鈴木 映二 東北医科薬科大学病院

S68-1 当事者の能力をどのように仕事につなげるか

○秋山 剛
NTT東日本関東病院精神科精神神経科

S68-2 あさかホスピタルグループにおける包摂的社会に向けての展開

○佐久間 啓
社会医療法人あさかホスピタル

S68-3 当事者会における当事者の癒やしの力

○鈴木 映二
東北医科薬科大学医学部精神科学教室

S68-4 双極症とその家族のセルフケアに対する看護の可能性、そして家族ができること・できないこと

○高橋 清美
日本赤十字九州国際看護大学

S68-5 【指定発言】

○夏莉 郁子
やきつべの径診療所

S68-6 【指定発言】

○朝田 小夏
NPO法人日本双極性障害連合会（ノーチラス会）

〈コーディネーター〉 鈴木 映二 東北医科薬科大学病院
秋山 剛 NTT東日本関東病院



9月29日(火) ポスター会場

一般演題(ポスター) 16

統合失調症 4

- 2-P16-1 「重度かつ慢性」の基準案を満たす患者と満たさない長期入院患者の self-stigma と認知機能障害に関する研究
○小松 浩、大野 高志、米田 芳則、石田 雄介、榎 貴浩、長谷 諭、大場 綾希子、手代木 理、鈴木 明、森 康子、庄司 盟子、藤田 亨、五十嵐 佳代子、坂本 洋生、尾崎 伸也、本間 竜太、角藤 芳久
宮城県立精神医療センター精神科
- 2-P16-2 当科精神科スーパー救急病棟における統合失調症措置入院症例の抗精神病薬処方調査
○下出 崇輝、松岡 孝裕、松尾 幸治
埼玉医科大学病院神経精神科
- 2-P16-3 統合失調症の機能的予後と服薬アドヒアランスの関係
○石井 洵平¹、小高 文聰²、宮田 久嗣³、瀬戸 光³、稲村 圭亮²、中村 咲美¹、山寺 亘¹、繁田 雅弘²
¹東京慈恵会医科大学葛飾医療センター精神神経科、²東京慈恵会医科大学附属病院、³公益財団法人復光会総武病院
- 2-P16-4 統合失調症急性期の入院治療結果
○長沼 英俊
雁の巣病院医療部
- 2-P16-5 長期罹患統合失調症にみられる認知症症状の背景病理の探索
○平野 光彬^{1,2}、鳥居 洋太^{2,3}、藤城 弘樹²、関口 裕孝⁴、羽瀧 知可子⁵、三輪 綾子³、合澤 祐⁵、吉田 眞理⁶、入谷 修司²、尾崎 紀夫²
¹医療法人豊和会南豊田病院、²名古屋大学大学院医学系研究科精神医学分野、³特定医療法人八誠会もりやま総合心療病院、⁴桶狭間病院藤田こころケアセンター、⁵愛知県精神医療センター、⁶愛知医科大学加齢医学研究所

一般演題(ポスター) 17

統合失調症 5

- 2-P17-1 パリペリドンが奏功した遅発パラフレニーの一例
○朝倉 有香、内藤 暢茂、宮下 翔伍、菊知 充、坪本 真
金沢大学附属病院神経精神科
- 2-P17-2 持効性注射剤導入後の忍容性に対する考察：ケースシリーズ
○後藤 将之、野崎 途也、刑部 有祐、浅野 太志、泉 竜太、森 湧平、鈴木 二妙香、板垣 俊太郎、三浦 至、矢部 博興
福島県立医科大学医学部神経精神医学講座
- 2-P17-3 ドパミン過感受性を有する統合失調症患者におけるブロナンセリンの実薬対照無作為化試験(ROADS study)
○新津 富央¹、畑 達記^{1,2}、西本 雅彦³、細田 豊^{1,2}、木村 敦史¹、小田 靖典¹、鈴木 正利⁴、高瀬 直子⁴、関 亮太^{1,5}、藤田 潔⁶、遠藤 貢⁷、吉田 泰介⁷、井上 雅之⁷、服部 徳昭⁷、村上 忠⁷、今村 幸嗣⁷、小川 耕平⁷、深見 悟郎⁷、佐藤 喬俊⁸、川崎 洋平⁸、橋本 佐^{1,7}、石川 雅智¹、椎名 明大^{1,9}、金原 信久^{1,9}、伊豫 雅臣^{1,9}
¹千葉大学大学院医学研究院精神医学、²医療法人社団松伯会藤田病院、³医療法人社団青木末次郎記念会相州病院、⁴医療法人社団澄心会茂原神経科病院、⁵医療法人同和会千葉病院、⁶桶狭間病院藤田こころケアセンター、⁷The ROADS study group、⁸千葉大学医学部附属病院臨床試験部、⁹千葉大学社会精神保健教育研究センター
- 2-P17-4 DSP-5423 (blonanserin 経口剤) の小児統合失調症患者を対象とした検証的試験
○中村 洋¹、石郷岡 純²、杉本 沙織¹、久田 昭文¹、齊藤 卓弥³
¹大日本住友製薬株式会社、²CNS薬理研究所、³北海道大学病院児童思春期精神医学研究部門

2-P17-5

急性増悪期の統合失調症患者を対象としたルラシドンのプラセボ対照二重盲検比較による第3相検証的試験成績○伊豫 雅臣¹、石郷岡 純²、中村 将俊³、坂口 玲子⁴、岡本 恵佑^{5,8}、野坂 忠史⁶、樋口 輝彦^{7,8}¹千葉大学大学院医学研究院精神医学、²CNS薬理研究所、³大日本住友製薬株式会社データサイエンス部、⁴大日本住友製薬株式会社臨床企画部、⁵大日本住友製薬株式会社臨床推進部、⁶大日本住友製薬株式会社メディカルアフェアーズ部、⁷日本うつ病センター、⁸国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター**一般演題（ポスター）18****気分障害 3**

2-P18-1

一般成人における幼少期にいじめられた体験が成人期のうつ症状に与える複合的要因の検討

○石井 義隆、梶屋 二郎、井上 猛

東京医科大学病院メンタルヘルス科

2-P18-2

小児期虐待、特性不安が反芻に及ぼす影響：重回帰分析による解析

○出口 彩香、井上 猛

東京医科大学病院メンタルヘルス科

2-P18-3

日常生活における日中光曝露と双極性障害のうつ症状との関連：APPLE コホートスタディからの横断解析○江崎 悠一^{1,2}、大林 賢史³、佐伯 圭吾³、藤田 潔^{1,4}、岩田 伸生²、北島 剛司²¹桶狭間病院藤田こころケアセンター精神科、²藤田保健衛生大学病院精神科、³奈良県立医科大学医学部疫学・予防医学講座、⁴特定非営利活動法人脳神経オーダーメイド医療研究センター

2-P18-4

双極性障害患者のライフイベントに関連した心理的苦悩症状と気分・感情との関係○佐藤 愛子¹、橋本 佐^{2,4}、木村 敦史^{1,2}、新津 富央^{1,2}、田中 麻未³、伊豫 雅臣^{1,2}¹千葉大学医学部附属病院精神神経科、²千葉大学大学院医学研究院精神医学、³千葉大学社会精神保健教育研究センター、⁴社会医療法人社団さつき会袖ヶ浦さつき台病院

2-P18-5

リカバリーセンター -大学病院精神科における気分障害・不安障害からのリカバリー支援の取り組み-榊原 英輔¹、○山路 陽子¹、金原 明子²、松岡 潤¹、川上 慎太郎²、森田 正哉²、矢野 健一³、清野 知樹²、浅井 竜朗²、木内 拓²、石浦 朋子¹、近藤 伸介¹¹東京大学医学部附属病院精神神経科、²東京大学大学院医学系研究科、³東京大学医学部附属病院リハビリテーション部**一般演題（ポスター）19****気分障害 4**

2-P19-1

<演題取り下げ>

2-P19-2

大うつ病性障害から双極Ⅱ型障害へ診断変更となった患者の予後調査○本多 笑奈¹、福本 健太郎¹、三條 克巳¹、水谷 歩未^{1,2}、松下 祐¹、藤原 碧¹、柿坂 佳菜恵¹、大塚 耕太郎¹¹岩手医科大学神経精神科学講座、²八戸赤十字病院

2-P19-3

双極性障害と大うつ病性障害患者の認知機能

○松尾 淳子、石田 一希、平石 萌子、太田 深秀、秀瀬 真輔、堀 弘明、寺石 俊哉、蓬田 幸人、功刀 浩

国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病三部



2-P19-4 大うつ病性障害患者における電気けいれん療法後の再入院・自殺既遂予測因子に関する研究－症例対照研究－

○稲川 優多、加藤 梨佳、岡田 剛史、塩田 勝利、小林 聡幸、須田 史朗
自治医科大学精神医学講座

2-P19-5 <演題取り下げ>

一般演題（ポスター）20 神経生理学・神経科学

2-P20-1 意識障害の病態生理の解明に向けた TMS-EEG 研究の系統的レビュー

○新井 脩泰¹、中西 智也²、李 雪梅¹、和田 真孝¹、宮崎 貴浩¹、中島 振一郎¹、三村 将¹、野田 賀大¹

¹慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室、²東京大学大学院身体運動科学研究室

2-P20-2 統合失調症における聴覚変化応答とその抑制

○元村 英史^{1,2}、河野 修大²、乾 幸二³、岡田 元宏²

¹三重大学医学部附属病院、²三重大学大学院医学系研究科精神神経科学分野、

³愛知県医療療育総合センター発達障害研究所障害システム研究部

2-P20-3 統合失調症の COMT Val108/158Met 遺伝子多型と Taq1A 遺伝子多型が Mismatch Negativity に与える影響について

○堀越 翔^{1,2}、志賀 哲也^{2,3}、星野 大³、落合 晴香³、野崎 啓子³、菅野 和子³、金子 春香^{3,4}、三浦 至³、矢部 博興³

¹ほりこし心身クリニック、²福島県厚生農業協同組合連合会塙厚生病院、

³福島県立医科大学医学部神経精神医学講座、⁴公益財団法人星総合病院星ヶ丘病院

2-P20-4 <演題取り下げ>

2-P20-5 シナプス形成におけるキナーゼ阻害剤の影響について

○江川 純¹、レモン ヴァンス²、染矢 俊幸¹

¹新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野、²マイアミ大学医学部神経外科

一般演題（ポスター）21 依存・行動嗜癖 1

2-P21-1 総合病院におけるアルコール健康障害への取り組みと、その効果について

○角南 隆史¹、花房 喜代治¹、渡邊 浩子¹、石井 博修¹、杠 岳文²

¹地方独立行政法人佐賀県医療センター好生館、²独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター

2-P21-2 問題飲酒者に対するオンライン版飲酒日記の有効性の評価（パイロット RCT）

○角南 隆史¹、宋 龍平²、石井 博修¹、貞嶋 栄司¹、上野 雄文³、杠 岳文³、門司 晃⁴

¹地方独立行政法人佐賀県医療センター好生館、²地方独立行政法人岡山県精神科医療センター、

³独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター、⁴佐賀大学医学部精神医学講座

2-P21-3 <演題取り下げ>

2-P21-4 桶狭間病院藤田こころケアセンターにおける依存症疾患への取り組み

○萩倉 美奈子、萩倉 祥一、藤田 潔
桶狭間病院藤田こころケアセンター精神科

2-P21-5 依存症治療プログラム参加の有無に伴う看護職者の態度について

○菊地 佑、角田 智哉、橘高 一
福島県立矢吹病院精神科

一般演題（ポスター）22**依存・行動嗜癖 2****2-P22-1 東京医科歯科大学におけるネット依存外来の現状**

○治徳 大介、小林 七彩、中島 涼子、門田 昇憲、杉原 玄一、高橋 英彦
東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科精神行動医科学分野

2-P22-2 成人の勤労者におけるインターネット使用時間と、ネット依存度・抑うつ・パーソナリティ傾向との関連

○松尾 敬太郎、香月 亮子、久保 浩明、加藤 隆弘
九州大学大学院医学研究院精神病態医学

2-P22-3 医療観察法通院処遇における物質使用障害～今後の有効な地域処遇に向けて

○武田 俊信¹、長谷川 直実²、石塚 伸一³
¹龍谷大学文学部、²医療法人社団ほっとステーション大通公園メンタルクリニック、³龍谷大学法学部

2-P22-4 高齢者の飲酒に関する地域差の実態国民生活基礎調査の結果より

○翠川 晴彦^{1,2}、太刀川 弘和^{3,4}、渡邊 多永子⁵、新井 哲明⁶、田宮 菜奈子^{4,5}
¹筑波大学大学院人間総合科学研究科疾患制御医学専攻、²医療法人社団有朋会栗田病院、
³筑波大学医学医療系臨床医学域災害・地域精神医学、⁴筑波大学ヘルスサービス開発研究センター、
⁵筑波大学医学医療系保健医療学域ヘルスサービスリサーチ分野、⁶筑波大学医学医療系臨床医学域精神医学

2-P22-5 メチルフェニデートと心理教育プログラムが有効だった、万引きを繰り返すゲーム障害の一例

○小林 七彩、中島 涼子、門田 昇憲、治徳 大介、杉原 玄一、高橋 英彦
東京医科歯科大学医学部附属病院東京医科歯科大学医学部精神科

一般演題（ポスター）23**児童・思春期・発達障害 3****2-P23-1 最後通牒ゲームにおける他者の視線の影響：注意欠陥多動症と健常者の比較**

○幾瀬 大介、新井 豪佑、佐賀 信之、林 若穂、花輪 洋一、岩波 明
学校法人昭和大学附属烏山病院精神科

2-P23-2 ADHDの臨床症状と、マインド・ワンダリングおよび sensation seeking との関連について

○富田 秋沙¹、高橋 茜里¹、平田 亮人¹、岡島 由佳¹、佐賀 信之²、岩波 明²
¹昭和大学病院附属東病院精神神経科、²昭和大学附属烏山病院

2-P23-3 <演題取り下げ>**2-P23-4 <演題取り下げ>**



2-P23-5

ひきこもり状態を呈する成人発達障害者の特徴について

○橘 知之¹、小峰 洋子^{2,4}、岩見 有里子¹、太田 晴久^{1,2}、加藤 進昌^{2,3}、岩波 明¹

¹昭和大学附属烏山病院精神科、²昭和大学発達障害医療研究所、³公益財団法人神経研究所附属晴和病院、

⁴聖心女子大学

一般演題（ポスター）24

児童・思春期・発達障害 4

2-P24-1

<演題取り下げ>

2-P24-2

5歳児発達健診 Web スクリーニングシステム（ここあぽ）の完成

○斉藤 まなぶ^{1,6}、田中 勝則²、山村 靖彦³、和久田 学^{1,4}、大里 絢子^{1,6}、足立 匡基^{5,6}、三上 珠希⁶、坂本 由唯¹、照井 藍¹、森 裕幸^{1,6}、新川 広樹⁶、高橋 芳雄^{5,6}、栗林 理人^{5,6}、中村 和彦^{1,6}

¹弘前大学大学院医学研究科神経精神医学講座、²北海学園大学、³(株)サーベイリサーチ、

⁴大阪大学大学院連合小児発達研究科、⁵弘前大学保健学研究科心理支援学科、

⁶弘前大学子どものこころの発達研究センター

2-P24-3

発達障害圏患者の就労者/非就労者の差異について：WAIS-III による検討

○井田 逸朗、石井 あかね、村山 侑里

独立行政法人国立病院機構高崎総合医療センター精神科

2-P24-4

地域精神科病院における発達障害の入院加療に対する現状と課題

○田畑 倫代¹、辻 富基美²、船井 翔平¹、北畑 雄大³、小池 なお美²、山野井 亮太¹、喜多 彬²、坂本 友香¹、小野 紀夫¹、糸川 秀彰¹、鵜飼 聡²

¹紀南こころの医療センター精神神経科、²和歌山県立医科大学神経精神医学教室、³和歌山県立こころの医療センター

一般演題（ポスター）25

児童・思春期・発達障害 5

2-P25-1

<演題取り下げ>

2-P25-2

実習失敗から適正を見直し良好な社会適応を得た性別違和と自閉スペクトラム症を合併した一例

○伊豆原 宗人¹、林田 麻衣子¹、伊豆原 久枝²、伊藤 司¹、佐藤 皓平¹、錦織 光¹、松田 泰行¹、金山 三紗子¹、三浦 章子¹、山下 智子¹、長濱 道治¹、大舘 孝治¹、橋岡 禎征¹、和氣 玲¹、稲垣 正俊¹

¹島根大学医学部附属病院精神医学講座、²島根大学医学部附属病院卒後臨床研修センター

2-P25-3

スーパー救急病棟に入院した発達障害の臨床的特徴

○宇野 宏光、中村 暖、幾瀬 大介、新井 豪佑、佐賀 信之、森井 智美、林 若穂、花輪 洋一、青柳 啓介、岩見 有里子、山田 浩樹、岩波 明

昭和大学医学部精神医学講座

2-P25-4

近赤外線スペクトロスコピーで測定した小児自閉スペクトラム症における前頭前野の血行動態反応の減少

○浦谷 光裕^{1,2}、太田 豊作²、飯田 順三³、岡崎 康輔²、山室 和彦²、中西 葉子⁴、岸本 直子²、金田 東奎²、中島 史裕²、南 昭宏²、藤本 侑花²、岸本 年史²

¹医療法人南風会万葉クリニック、²奈良県立医科大学精神医学講座、³奈良県立医科大学看護学科人間発達学、

⁴医療法人鴻池会秋津鴻池病院

一般演題（ポスター）26

コンサルテーション・リエゾン 1

- 2-P26-1 **日本における術後せん妄患者に対する薬物療法と精神科医の介入**
○野田 由記^{1,2}、桜澤 邦男²、伏見 清秀³、藤森 研司²
¹東北会病院精神科、²東北大学大学院医学系研究科医療管理学、³東京医科歯科大学大学院医療政策情報学
- 2-P26-2 **コンサルテーション依頼時におけるせん妄患者のベンゾジアゼピン系薬剤の使用状況**
○森本 拓頌、廣瀬 智之、柳 雅也、丹羽 篤、土屋 有希、山形 祥礼、阪中 聡一郎、細見 史治、明石 浩幸、辻井 農重、白川 治
近畿大学医学部精神神経科学教室
- 2-P26-3 **総合病院における、せん妄対策の取り組みと今後の課題**
○石井 博修、角南 隆史、花房 喜代治、松尾 真樹、八谷 由貴、岩村 昌子
佐賀県医療センター好生館精神科
- 2-P26-4 **植込み型補助人工心臓の頻回な操作管理トラブルが、循環動態悪化に伴う低活動型せん妄で引き起こされた一例**
○刑部 有祐¹、加藤 郁子²、佐藤 崇匡³、東雲 紀子⁴、三浦 至¹、矢部 博興¹
¹福島県立医科大学神経精神医学講座、²福島県立医科大学看護学部、³福島県立医科大学循環器内科学講座、⁴福島県立医科大学附属病院看護部
- 2-P26-5 **総合病院精神科外来における集団認知行動療法の効果 -抑うつ改善に関わる認知傾向について-**
○星山 晋太郎¹、澤口 範真²、引間 涼子²、黒木 明信²、畑山 恵美子²、大西 雄一¹、三上 克央¹、山本 賢司¹
¹東海大学医学部専門診療学系精神科学、²東海大学医学部付属病院診療技術部診療技術科

一般演題（ポスター）27

コンサルテーション・リエゾン 2

- 2-P27-1 **緩和ケアとの連携により末期がんの苦痛を軽減できた統合失調症の一例**
○黒川 義博¹、荒木 裕登²、齋藤 真一¹、齋藤 純一¹
¹松阪厚生病院精神科、²松阪厚生病院内科
- 2-P27-2 **心理社会的困難を有する妊産婦支援における実母の影響**
○小川 道¹、橋本 佐¹、田中 麻未²、橘 真澄¹、関 亮太¹、佐藤 愛子¹、岡山 潤⁴、遠藤 真美子⁵、齋藤 直樹⁶、佐藤 泰憲⁸、渡邊 博幸²、中里 道子¹、森 恵美⁷、生水 真紀夫³、伊豫 雅臣¹
¹千葉大学医学部附属病院精神神経科、²千葉大学社会精神保健教育研究センター、³千葉大学大学院医学研究院生殖医学講座、⁴千葉大学医学部附属病院周産期母性科、⁵千葉大学大学院医学研究院小児病態学、⁶千葉大学大学院医学研究院附属法医学研究教育センター、⁷千葉大学大学院看護学研究科リプロダクティブヘルス看護学、⁸慶應大学医学部衛生学公衆衛生学教室
- 2-P27-3 **産後 4 週目の抑うつに影響する背景因子の検討 -2 週目健診の有用性も含めて-**
○寒川 尚登、長尾 達憲、石川 亮、増田 慶一、板垣 圭、和田 健
広島市立広島市民病院精神科
- 2-P27-4 **維持透析を継続することができたせん妄を呈した認知症疾患の 2 例**
○萩倉 祥一、萩倉 美奈子、藤田 潔
桶狭間病院藤田こころケアセンター精神科
- 2-P27-5 **<演題取り下げ>**



一般演題（ポスター）28 コンサルテーション・リエゾン3

- 2-P28-1 **精神科単科病院での、総合病院内科医との多職種回診の試み：成果と課題**
○千葉 洋平¹、千石 利広¹、牧口 幸一¹、坂本 隆¹、吉田 宏美¹、武田 修¹、森山 奈津子¹、
吉田 和佳子¹、竹内 一仁²、関谷 修¹
¹津軽保健生活協同組合藤代健生病院医局、²津軽保健生活協同組合健生病院
- 2-P28-2 **身体合併症を有する精神疾患患者の入院治療に関する実態－一般病棟、救命救急センター、精神科病棟での比較－**
○増田 慶一、長尾 達憲、寒川 尚登、石川 亮、板垣 圭、和田 健
広島市立広島市民病院精神科
- 2-P28-3 **身体疾患患者の抑うつと栄養状態との関係について**
○富田 絢¹、小田嶋 朋子¹、齋藤 諒将¹、星山 晋太郎¹、赤間 史明¹、大西 雄一¹、三上 克央¹、
須藤 武司¹、浅井 さとみ³、柳 秀高²、沖 将行²、小澤 秀樹²、松本 英夫¹、山本 賢司¹
¹東海大学医学部医学科専門診療学系精神科学、²東海大学医学部医学科内科学系総合内科学、
³東海大学医学部医学科基盤診療学系臨床検査学
- 2-P28-4 **<演題取り下げ>**
- 2-P28-5 **透析患者のうつ病・うつ状態の鑑別について～CES-D による診断ツールの開発～**
○片貝 公紀¹、富田 哲¹、古郡 規雄²、斎藤 久夫³、中村 和彦¹
¹弘前大学附属病院神経精神医学講座、²獨協医科大学病院、³鷹揚郷腎研究所弘前病院

一般演題（ポスター）29 ECT・ニューロモデュレーション1

- 2-P29-1 **右片側性超短パルス波で ECT を施行しせん妄を予防できた反復性うつ病の一例**
○染谷 知恵、河野 正晴、岡野 宏紀、久保田 涼太郎、廣瀬 正義、日吉 史一、林 大祐、
稲川 拓磨、池澤 聰、佐竹 直子、野田 隆政
国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
- 2-P29-2 **術前の胸部単純 CT が ECT 中の心筋虚血の予測と予防に有効であった 2 症例**
○栗本 直樹^{1,2}、山田 麻紀¹、北野 雅史¹、尾池 祐輝¹、栗本 律子³、栗本 藤基¹
¹医療法人藤樹会滋賀里病院精神科、²医療法人藤樹会滋賀里病院麻酔科、³洛和会音羽病院心臓内科
- 2-P29-3 **電気けいれん療法後に症状の再燃をみとめた 1 症例に対する画像的考察**
○坂寄 健、増岡 孝浩、荒川 亮介、舘野 周、大久保 善朗
日本医科大学付属病院精神神経科
- 2-P29-4 **ECT に増強療法を要した 3 症例の報告**
○廣瀬 正義、野田 隆政、佐竹 直子、池澤 聰、稲川 拓磨、宇佐美 貴士、林 大祐、河野 正晴、
日吉 史一、久保田 涼太郎、岩田 遼、岡野 宏紀、庄司 昂、染谷 知恵
国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院第一精神診療部
- 2-P29-5 **無投薬下の ECT で躁症状が改善した双極Ⅰ型障害の一例**
○榎田 嵩子、野田 隆政、宇佐美 貴士、佐竹 直子、中込 和幸
国立精神・神経医療研究センター病院精神科

一般演題（ポスター）30

ECT・ニューロモデュレーション2

- 2-P30-1 **電気けいれん療法の Postical Suppression Index と関連する因子についての検討**
○佐藤 由英、古郡 規雄、大和田 環、北林 佳晃、横山 宜史、藤平 明広、菅原 典夫、下田 和孝
獨協医科大学病院精神神経科
- 2-P30-2 **電気けいれん療法における同一コース中の刺激用量上昇に関与する因子の検討**
○大和田 環、古郡 規雄、北林 佳晃、佐藤 由英、横山 宜史、藤平 明広、菅原 典夫、下田 和孝
獨協医科大学精神神経医学講座
- 2-P30-3 **ECT における有効けいれん発作を包括的に評価する SQC を用いた LEBAB project について**
○青木 宣篤¹、嶽北 佳輝¹、西本 大樹¹、越川 陽介¹、川島 啓嗣²、諏訪 太郎^{1,2}、木下 利彦¹
¹関西医科大学総合医療センター精神神経科、²京都大学医学部附属病院
- 2-P30-4 **本邦における継続・維持 ECT のアンケート調査報告**
○青木 宣篤¹、嶽北 佳輝¹、川島 啓嗣²、諏訪 太郎²、木下 利彦¹、和田 健³
¹関西医科大学総合医療センター精神神経科、²京都大学医学部附属病院、³広島市立広島市民病院精神科
- 2-P30-5 **ECT における各背景因子が発作の質におよぼす影響について -SQC を用いた後方視研究-**
○青木 宣篤、西本 大樹、田中 優樹、嶽北 佳輝、木下 利彦
関西医科大学総合医療センター精神神経科

一般演題（ポスター）31

研修医・医学部生演題

- 2-P31-1 **水害後のメンタルヘルスでは被災格差が抑うつリスクとなる -常総市水害における GIS 空間データ分析-**
○岡本 雄太¹、太刀川 弘和²、翠川 晴彦³、螺良 美波⁴、田口 高也²、高橋 晶²、新井 哲明⁵
¹医療法人社団常仁会牛久愛和総合病院、²筑波大学医学医療系臨床医学域災害・地域精神医学、
³筑波大学人間総合科学研究科疾患制御医学専攻精神医学分野、⁴筑波大学医学群医学類、
⁵筑波大学医学医療系臨床医学域精神医学
- 2-P31-2 **リチウムにより腎機能障害を生じ、透析加療を要した双極性感情障害の一例**
○水野 公仁¹、倉持 泉¹、志賀浪 貴文¹、谷木 夏妃²、平田 吾一²、松岡 孝裕²、松尾 幸治²、
吉益 晴夫²
¹埼玉医科大学総合医療センターメンタルクリニック、²埼玉医科大学病院神経精神科・心療内科
- 2-P31-3 **ヒトの社会認知に関する機能的神経画像研究**
○津田 彩也香、川崎 康弘、松岡 芽生、藤田 季来々、西藤 篤城、上原 隆、長澤 達也、
嶋田 貴充、片岡 譲
金沢医科大学精神神経科科学
- 2-P31-4 **レビー小体型認知症に併存する精神症状に対し、右片側配置超短パルス波電気けいれん療法を施行した1例**
○神田 慧一²、五十嵐 江美¹、佐熊 惇¹、飯塚 邦夫¹、富田 博秋¹
¹東北大学病院、²東北大学
- 2-P31-5 **患者のうつ病心理教育の実態および理解度と処方内容；抗精神病薬について**
○青山 修平¹、富田 哲¹、島 貴子¹、渡辺 俊¹、古郡 規雄²、工藤 周平³、菅原 典夫²、藤井 学⁴、
敦賀 光嗣⁵、佐藤 靖⁶、石岡 雅道⁷、中村 和彦¹
¹弘前大学大学院医学研究科神経精神医学講座、²獨協医科大学精神神経医学講座、³八戸市立市民病院、
⁴つがる総合病院、⁵青森県立つくしが丘病院、⁶大館市立総合病院、⁷札幌トロイカ病院